I·O DATA

143250-01

USB接続赤外線通信アダプタ

USB-ir

取扱説明書



Z'QUN

ズ・キュン

もくじ

必ずお守りください 1
使用上のご注意 6

本製品を使うまでの手順

１．内容物を確認する 7
２．動作環境を確認する 9
３．インストールする 10
４．インストール状態を確認する 17
５．MediaSink Lite Edition をインストールする 21

使ってみよう

設置する 23
本製品でファイルを受信する 24
本製品で受信した写真を見る 27
本製品からファイルを送信する 29

その他

困った時には 34
赤外線の設定を確認する 41
本製品を削除する 47
仕様 53
アフターサービス 54

必ずお守りください

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

■警告及び注意表示

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵記号の意味

△	この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。 記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。 例）  「発火注意」を表す絵表示
⊘	この記号は禁止の行為を告げるものです。 記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。 例）  「分解禁止」を表す絵表示
●	この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。 記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。 例）  「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠ 警告


厳守

本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守し、正しい手順で使用してください。

警告･注意事項を無視すると人体に多大な損傷を負う可能性があります。また、正しい手順で操作しない場合、予期せぬトラブルが発生する恐れがあります。ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意事項、正しい手順を厳守してください。


分解禁止

本製品をご自分で修理・分解・改造しないでください。

火災や感電、やけど、故障の原因となります。
修理は弊社修理センターにご依頼ください。分解したり、改造した場合、保証期間であっても有料修理となる場合があります。


電源プラグを抜く

煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止してください。

ご使用のパソコンや周辺機器の電源を切って､本製品を取り外してください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。


発火注意

本製品の取り扱いは、必ず取扱説明書を接続方法をご確認になり、以下のことにご注意ください。

指定されたスロットにきちんと差し込んでください。正しく装着されていないと、火災および故障の原因となります。


厳守

本製品の取り付け、取り外し、移動の際は、本製品の取扱説明書をご確認になり、正しい手順で行ってください。
感電および故障の原因となります。


水濡れ禁止

本製品を濡らしたり、水気の多い場所で使用しないでください。
お風呂場、雨天・降雪中（屋外）、海岸・水辺での使用は火災・感電・故障の原因となります。


禁止

故障や異常のまま、通電しないでください。
本製品に故障や異常がある場合は、必ずパソコンから取り外してください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。

⚠ 注意


注意

本製品を使用する際に、取扱説明書などでの操作手順説明と異なった操作をしてデータが消失した場合は、データの保証は一切いたしかねます。

取扱説明書などで、操作方法を確認して操作してください。
また、故障に備えて定期的にバックアップを行ってください。


禁止

本製品は以下のような場所（環境）で保管・使用しないでください。
故障の原因となることがあります。
●振動や衝撃の加わる場所　●直射日光のあたる場所　●湿気やホコリが多い場所　●温湿度差の激しい場所　●熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど）　●強い磁力・電波の発生する物の近く（磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など）　●水気の多い場所（台所、浴室など）　●傾いた場所　●腐食性ガス雰囲気中（CI_2、H_2S、NH_3、SO_2、NO_Xなど）　●静電気の影響の強い場所　●保温性・保湿性の高い（じゅうたん・スポンジ・ダンボール箱・発泡スチロールなど）場所（保管は問題ありません）


禁止

本製品は精密部品です。以下のことにご注意ください。
●落としたり、衝撃を加えたり、無理な力を加えたりしない
●本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
●重いものを上にのせない
●本製品内部に液体、金属、たばこの煙などの異物を入れない


禁止

本製品のコネクタ部分には直接手を触れないでください。

静電気が流れ、部品が破壊されるおそれがあります。また、静電気は衣服や人体からも発生するため、本製品の取り付け・取り外しは、スチールキャビネットなどの金属製のものに触れて、静電気を逃がした後で行ってください。


禁止

本製品でデータ通信中に電源を切ったり、パソコンをリセットしないでください。

故障の原因になったり、データが消失するおそれがあります。



本製品は情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づく製品です。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

使用上のご注意

本製品は非常に精密にできておりますので、お取り扱いに際しては十分注意してください。

●添付のフレキシブルケーブルを必要以上にねじったり、折り曲げたりしないでください。断線の危険があります。

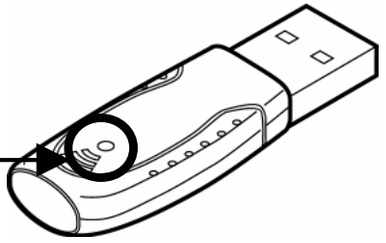
●本製品はパソコンの「スタンバイ」、「スリープ」、「レジューム」、「ハイバネーション」には対応しておりません。
本製品を使用する場合は、これらの機能は無効に設定してください。

１．内容物を確認する

ご使用の前に以下のものがそろっていることを ☐ にチェックをつけながらご確認ください。万一、不足品がありましたら、弊社サポートセンターまでお知らせください。

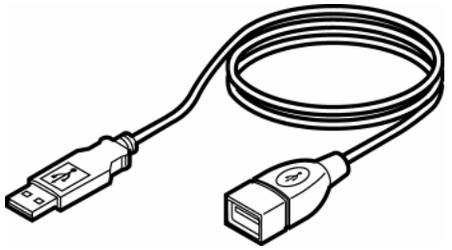
内容物

☐ 本製品（１個）

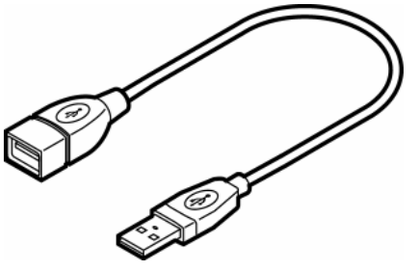


ランプ	状態
点灯	通電状態
点滅	データの送受信中

☐ USB 延長ケーブル（１本）



☐ フレキシブルケーブル（１本）



☐ サポートソフト（１枚）[CD-ROM]

☐ ハードウェア保証書（１枚）

☑ 取扱説明書（１冊：本書）

注意！

・箱や梱包材は大切に保管し、修理などの輸送の際にご利用ください。
・イラストは若干異なる場合があります。



参考

《ユーザー登録やサポートソフトのダウンロードについて》

ユーザー登録をする際や、弊社ホームページよりサポートソフトをダウンロードする際に S/N が必要な場合があります。

S/N は本製品に貼られているシールに印字されている 12 桁の英数字です。

例： ABC1234567ZX

▼S/N をメモしてください。

●ユーザー登録　⇒ http://www.iodata.jp/regist/

●サポートソフトのダウンロード　⇒ http://www.iodata.jp/lib/

2. 動作環境を確認する

動作環境	
赤外線通信ポート非搭載、USB ポート標準搭載、CD-ROM ドライブ(インストール用)を搭載※1※2※3 した下記の機種・OS	
対応機種	**対応 OS**
・NEC PC98-NX シリーズ ・DOS/V マシン (弊社では、OADG 加盟メーカーの DOS/V マシンで動作確認をしております。)	・Windows XP ・Windows 2000 ・Windows Me ・Windows 98 Second Edition のみ

※1 CD-ROM ドライブが無い場合は、35 ページをご覧ください。
※2 USB 接続の CD-ROM ドライブを使用している場合は、36 ページをご覧ください。
※3 一部の機種は、OS 起動中の本製品の抜き差しには対応しておりません。

通信可能な携帯電話		
NTT ドコモ	**FOMA**	**N2701、N2051、F2102V、N2102V、P2102V**
	505iシリーズ	**D505i、F505i、N505i、SH505i、P505i**
	504iSシリーズ	**F504iS、P504iS、N504iS**
ボーダフォン	**J-N51、J-SH53**	

※ 掲載されていない携帯電話は、対応しておりません。
最新情報については、弊社ホームページ（http://www.iodata.jp/）をご覧ください。

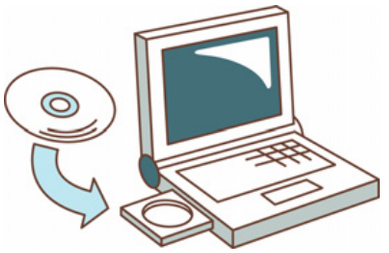
3. インストールする

本製品を接続する前に、ドライバをインストールします。

> **ここではまだ本製品を挿入しないでください。**
> 下記の作業は、本製品をパソコンに挿入しない状態で行います。
> 本製品との接続は、下記の作業の後に行います。

1 **Windows を起動します。**
Windows XP/2000 の場合は、管理者権限のあるユーザでログインします。

2 **サポートソフト CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。**

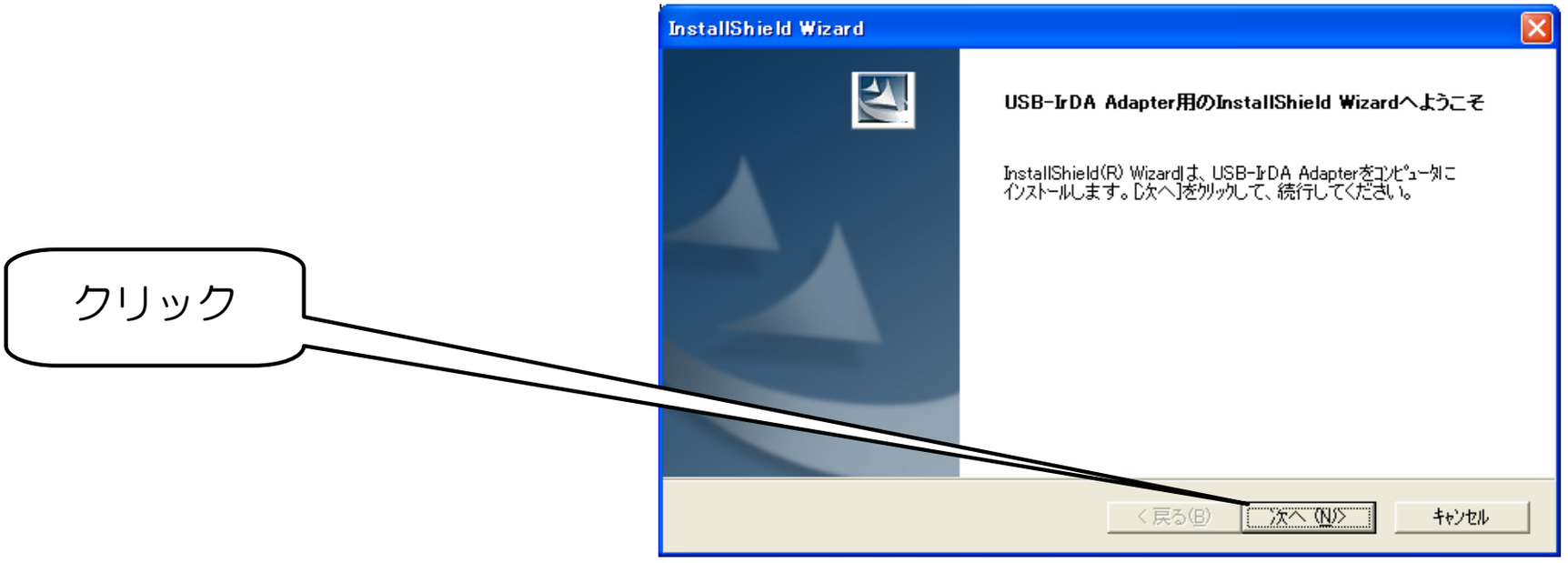


3 **メニュー画面が表示されますので、[USB-ir デバイスドライバ]をクリックします。**
自動でメニュー画面が表示されない場合は、CD-ROM の[Autorun.exe]を起動してください。

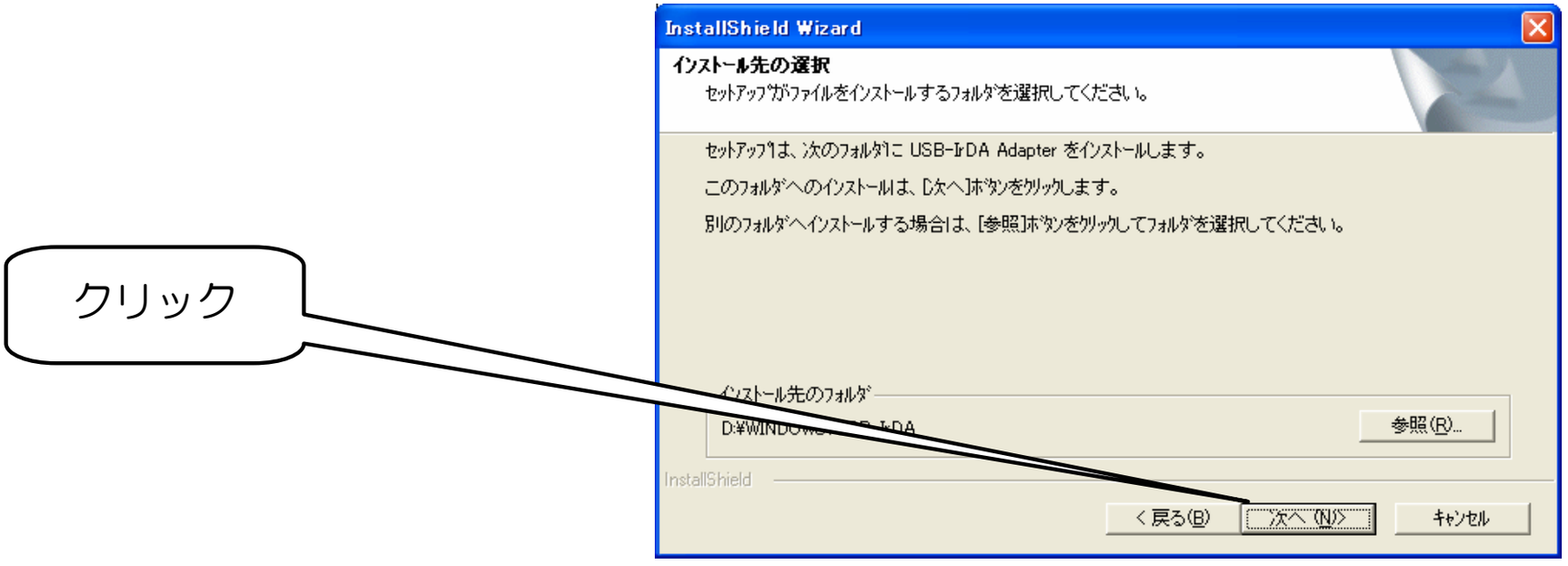


4 [次へ]ボタンをクリックします。

※以降の画面はWindows XPの例です。



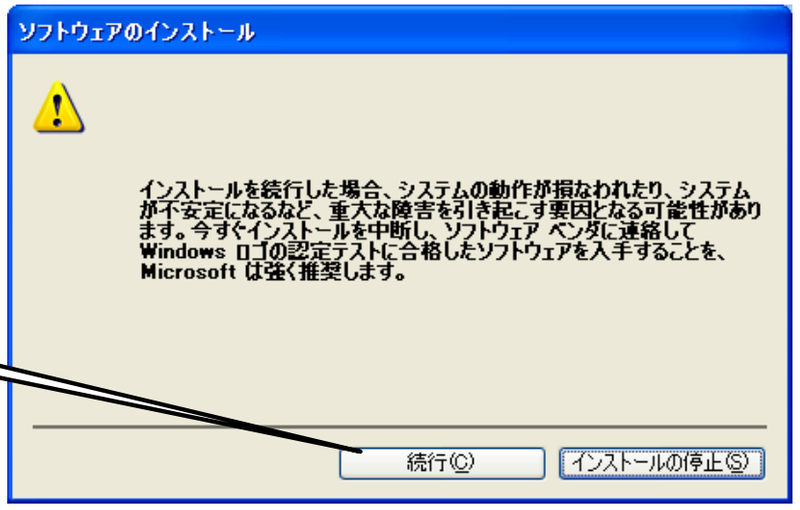
5 [次へ]ボタンをクリックします。



6 Windows XP の場合、[続行]ボタンをクリックします。

※他の OS では表示されません。
　手順 7 へお進みください。

クリック



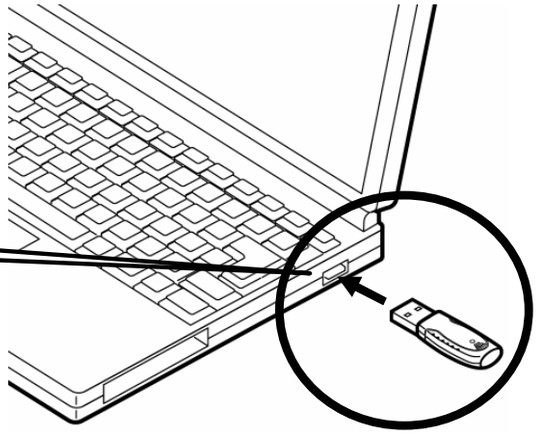
参考

弊社製ソフトウェアが確認された時点で、マイクロソフトが認証するソフトウェアでは無いというメッセージが表示されますが、特に問題ありませんのでそのまま続行します。

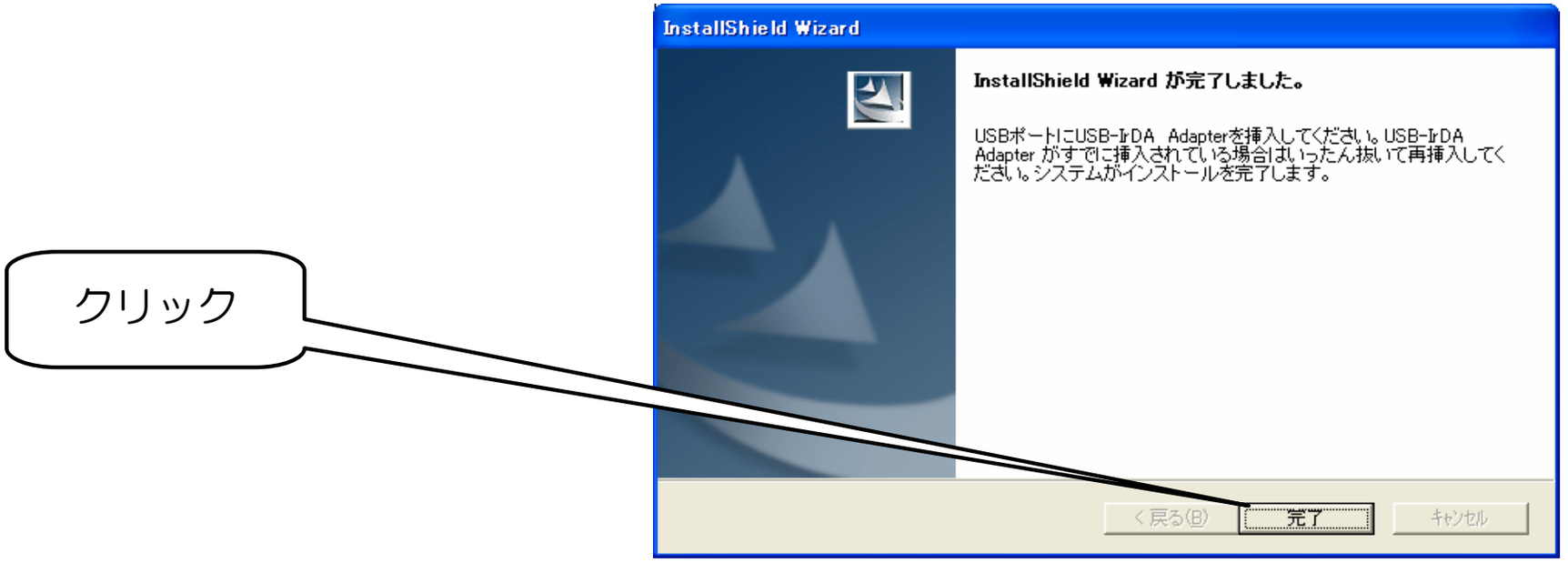
→マイクロソフト社は WHQL という組織において、パソコン本体や周辺機器などを対象とした認定手続きを実施しております。

7 本製品をパソコンの USB ポートに挿入します。

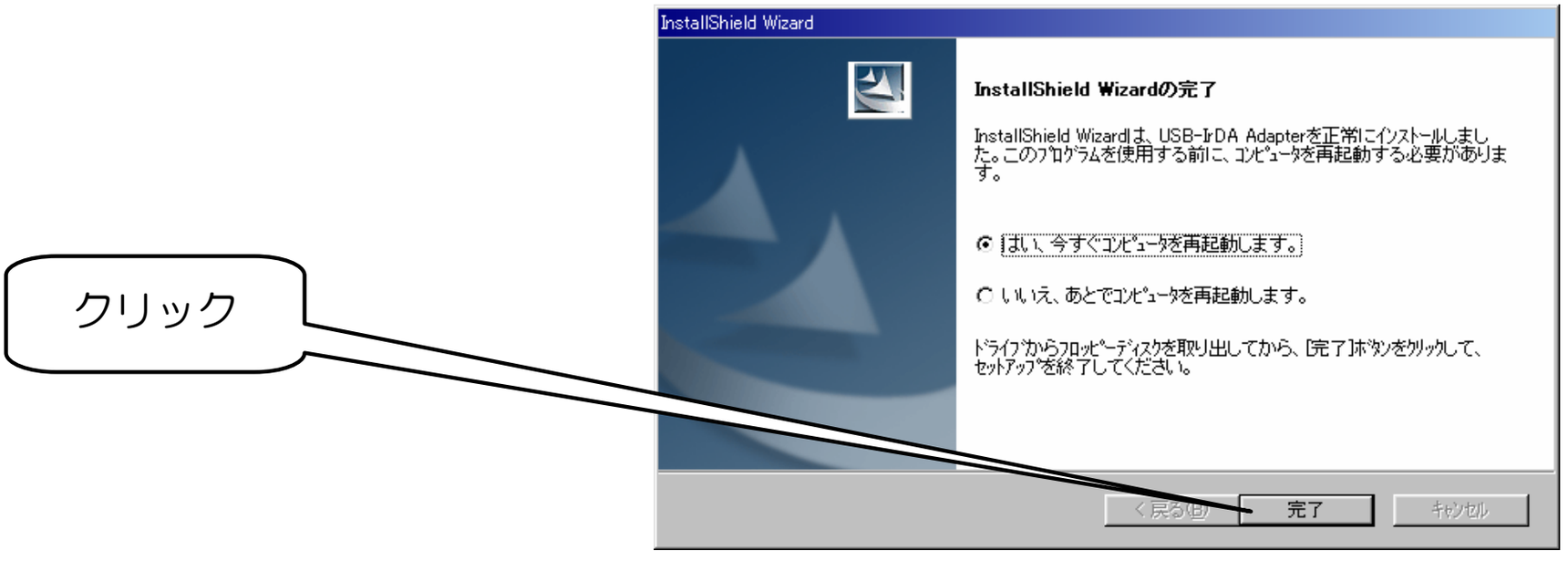
USB ポートに挿入



8 **本製品がパソコンの USB ポートに正しく挿入されていることを確認して、[完了]ボタンをクリックします。**



9 **メニュー画面の[EXIT]をクリックして閉じてから、CD-ROM を取り出します。**再起動の画面が表示された場合は、[完了]ボタンをクリックし、パソコンを再起動してください。　　▼Windows 98 SE の例



この後、OS により手順が異なります。下記の該当ページへお進みください。

●Windows XP の場合

【Windows XP の追加作業】（次ページ）へお進みください。

●Windows 2000 の場合

【４．インストール状態を確認する】（17 ページ）へお進みください。

●Windows Me/98 SE の場合

本製品装着後に自動でインストールが開始します。

OS 起動時に Windows CD-ROM の挿入を要求される場合がありますので、

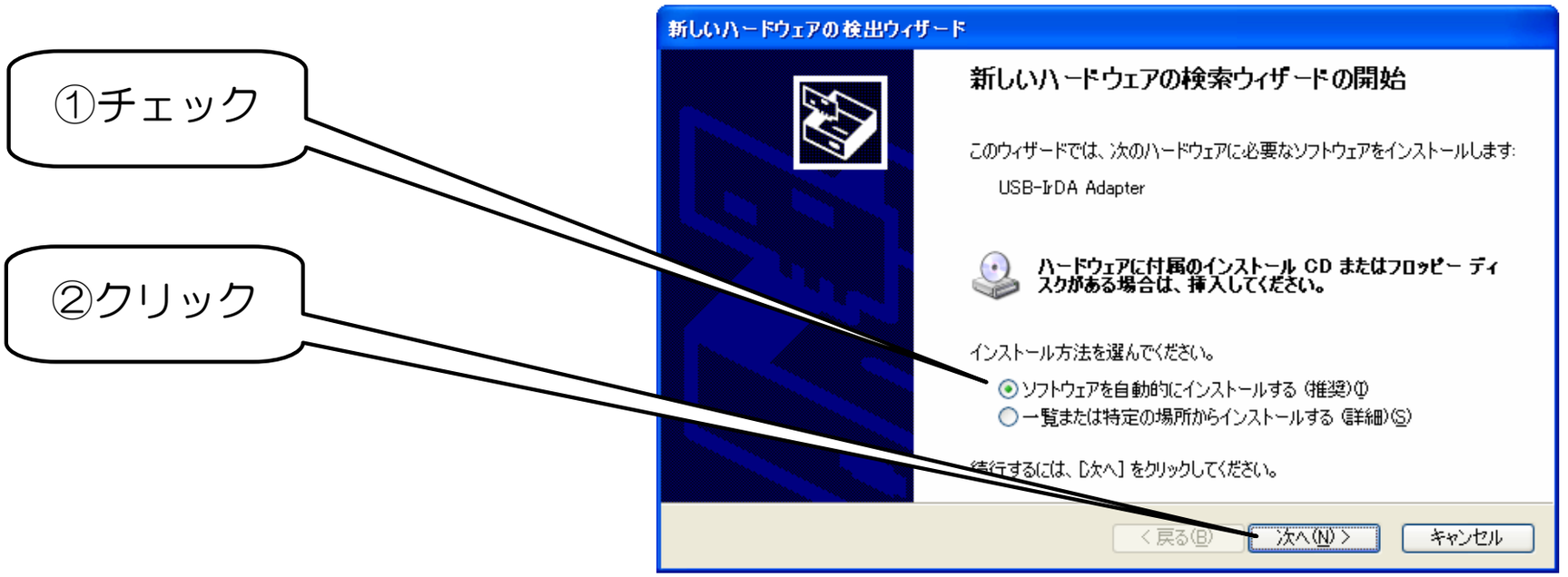
Windows CD-ROM をお手元にご用意ください。

（Windows の CD-ROM からファイルをコピー中に、[バージョンの競合]という画面が表示された場合は、すべて[はい]ボタンをクリックしてください。）

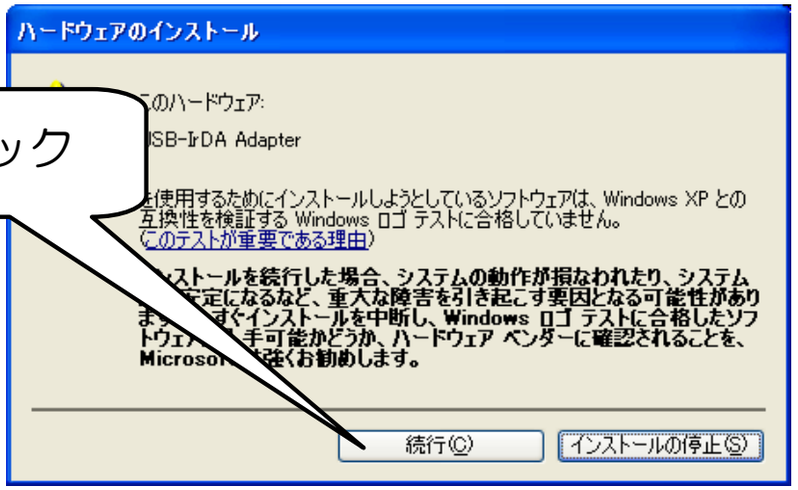
その後、【４．インストール状態を確認する】（17 ページ）へお進みください。

Windows XP の追加作業

10 **本製品装着後、下の画面が表示されますので、[ソフトウェアを自動的にインストールする]にチェックがついていることを確認して、[次へ]ボタンをクリックします。**



11 **[続行]ボタンをクリックします。**



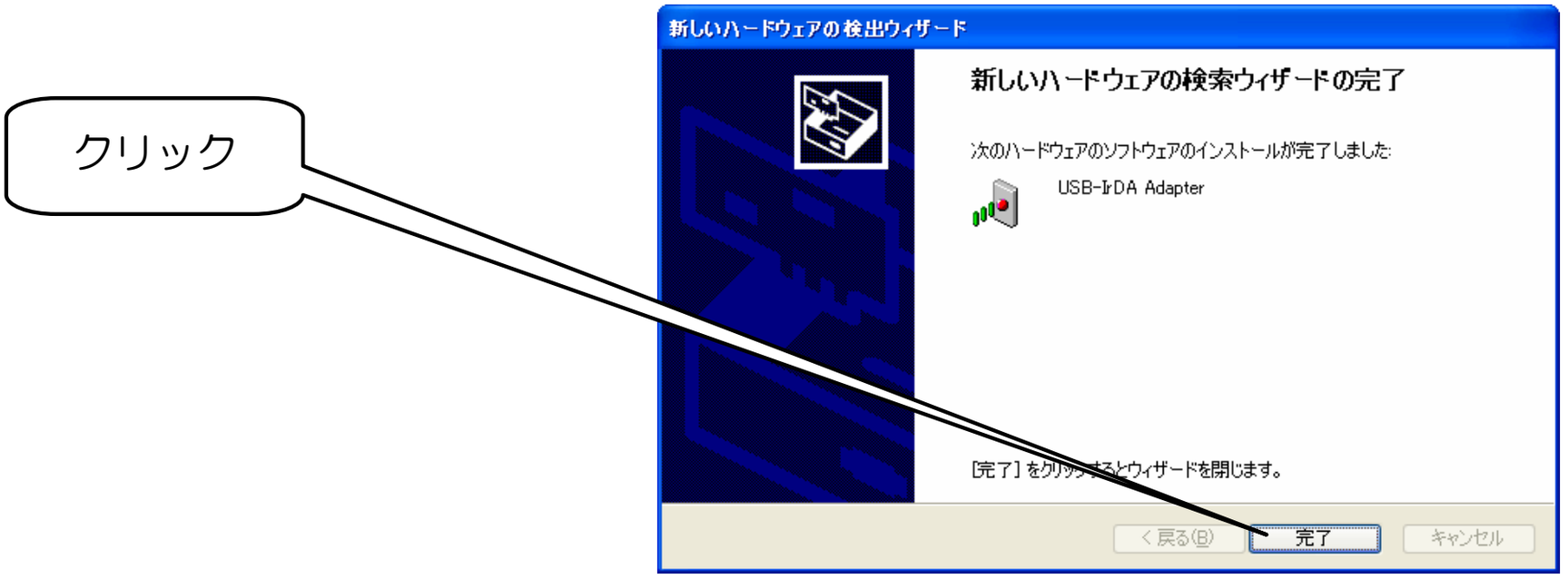
参考

弊社製ソフトウェアが確認された時点で、マイクロソフトが認証するソフトウェアでは無いというメッセージが表示されますが、特に問題ありませんのでそのまま続行します。

→マイクロソフト社は WHQL という組織において、パソコン本体や周辺機器などを対象とした認定手続きを実施しております。

Windows XP の追加作業（つづき）

13 [完了]ボタンをクリックします。



この後、【４．インストール状態を確認する】（次ページ）へお進みください。

４．インストール状態を確認する

ここでは本製品が、正常に使用できることを確認する方法を説明します。

OS により手順が異なります。下記の該当ページへお進みください。

●Windows XP/2000 の場合

【Windows XP/2000 での確認】（次ページ）へお進みください。

●Windows Me/98 SE の場合

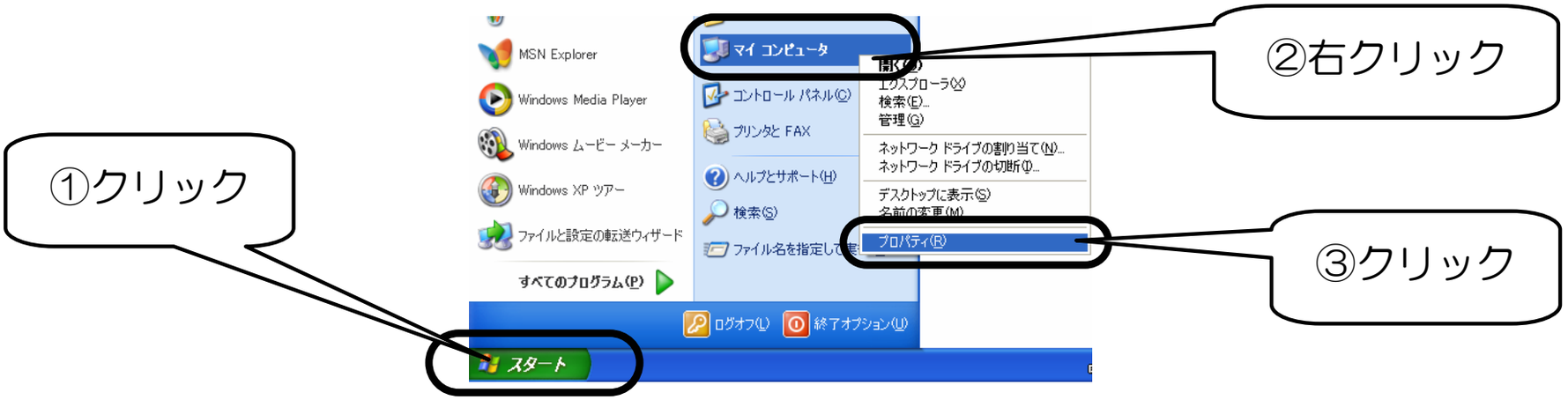
【Windows Me/98 SE での確認】（20 ページ）へお進みください。

Windows XP/2000 での確認

1 [マイコンピュータ]のプロパティを起動します。

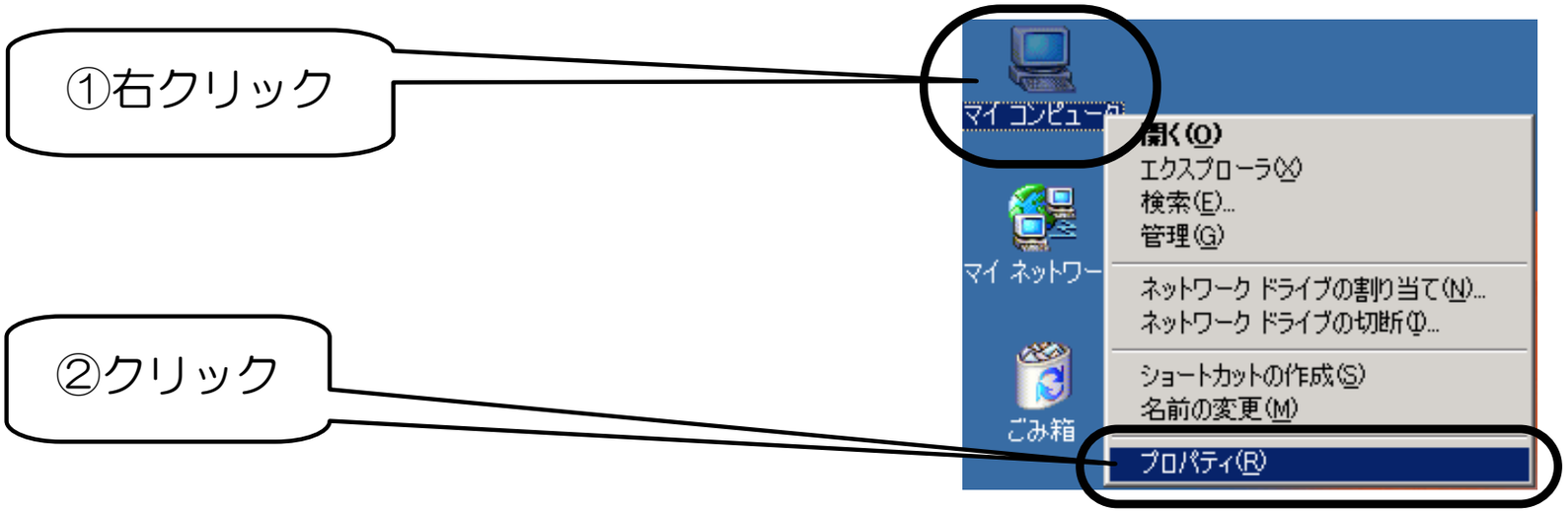
●Windows XP の場合

[スタート]をクリックし、[マイコンピュータ]を右クリックして、[プロパティ]をクリックします。



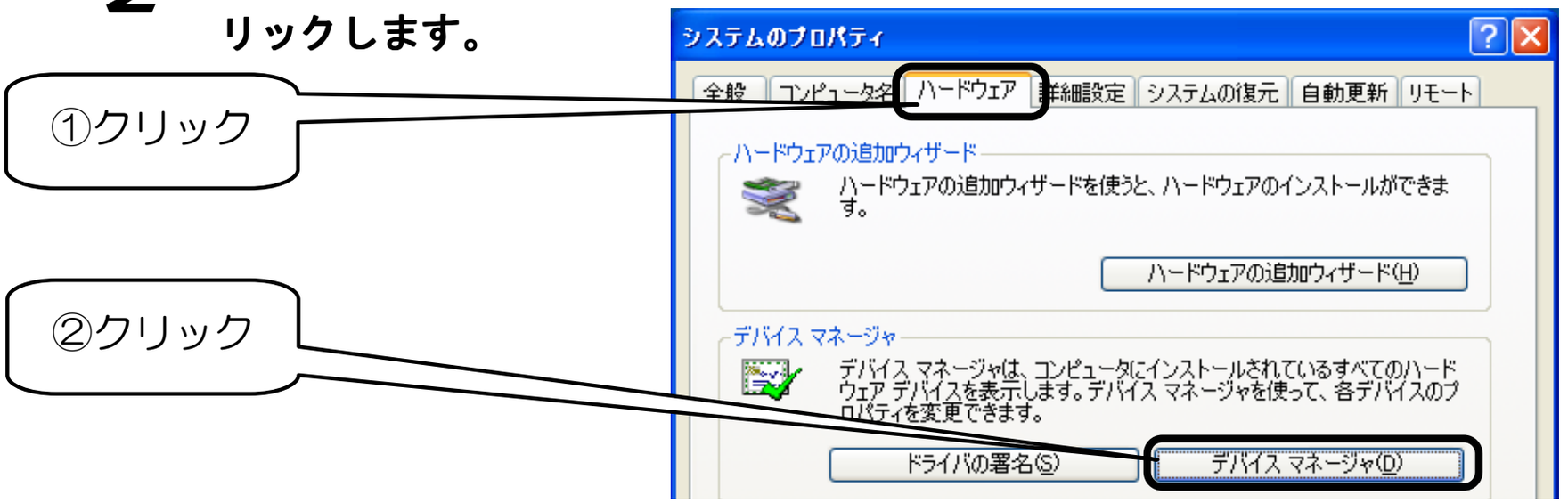
●Windows 2000 の場合

[マイコンピュータ]を右クリックして、[プロパティ]をクリックします。



Windows XP/2000 での確認（つづき）

2 **[ハードウェア]タブをクリックして、[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。**

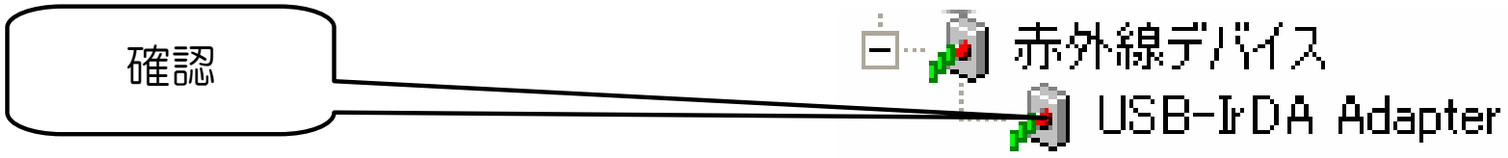


3 **[赤外線デバイス] をダブルクリックします。**

・[赤外線デバイス] の下に [USB-IrDA Adapter] と表示されていることを確認します。([赤外線デバイス]は画面の下方にあります。)

・その頭に！マークが表示されていないことも確認します。

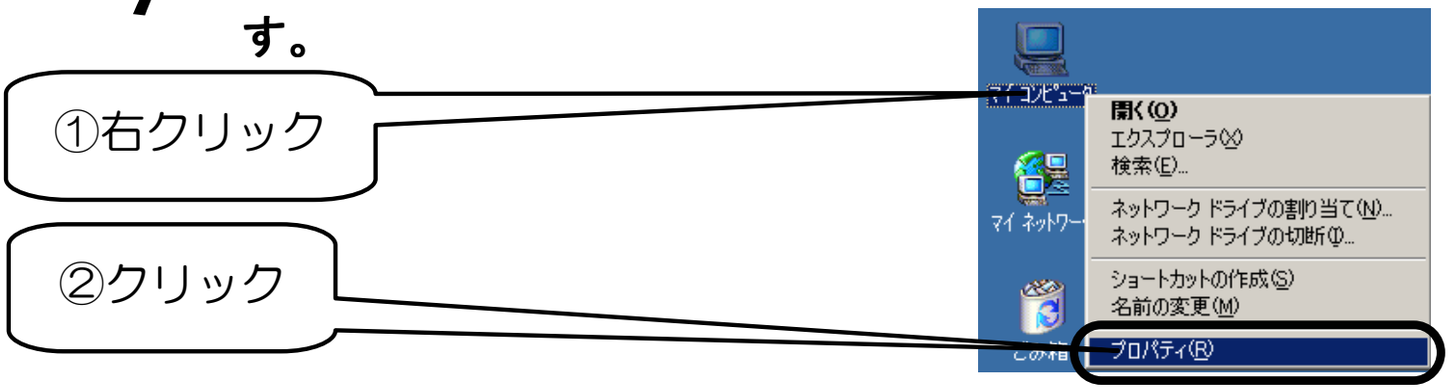
⇒問題がある場合は、【困った時には】(38 ページ) をご覧ください。



これで本製品は正常に利用できます。【５．MediaSink をインストールする】(21 ページ) へお進みください。

Windows Me/98 SE での確認

1 **[マイコンピュータ]を右クリックして、[プロパティ]をクリックします。**

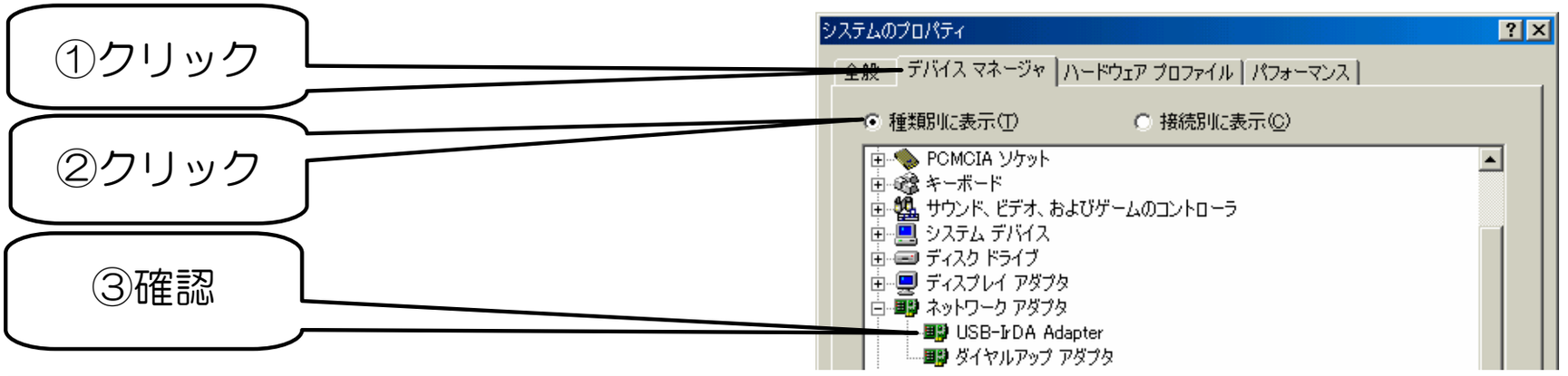


2 **[デバイスマネージャ] タブをクリックし、[種類別に表示] で [ネットワークアダプタ] をダブルクリックします。**

・[ネットワークアダプタ] の下に [USB-IrDA Adapter] と表示されていることを確認します。

・その頭に！マークが表示されていないことも確認します。

⇒問題がある場合は、【困った時には】（38 ページ）をご覧ください。



これで本製品は正常に利用できます。【５．MediaSink をインストールする】（次ページ）へお進みください。

5. MediaSink Lite Edition をインストールする

本製品経由で転送した携帯電話の写真を見ることができるソフトウェアです。

下記の手順でインストールしてください。

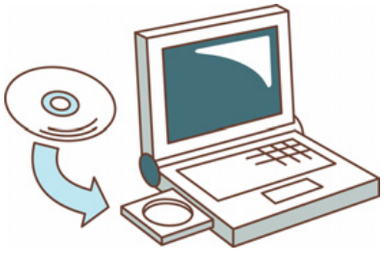
注意！

すでに 1.5 より古いバージョンの MediaSink をお使いの場合は、本製品添付の MediaSink をインストールする前に、必ずアンインストール(削除)してください。
また、1.5 より古いバージョンの MediaSink で保存していたデータは、本製品添付の MediaSink をはじめて起動したときに、各グループの[更新フォルダ]に保存されています。再度各フォルダに振り分けてください。

1 Windows を起動します。

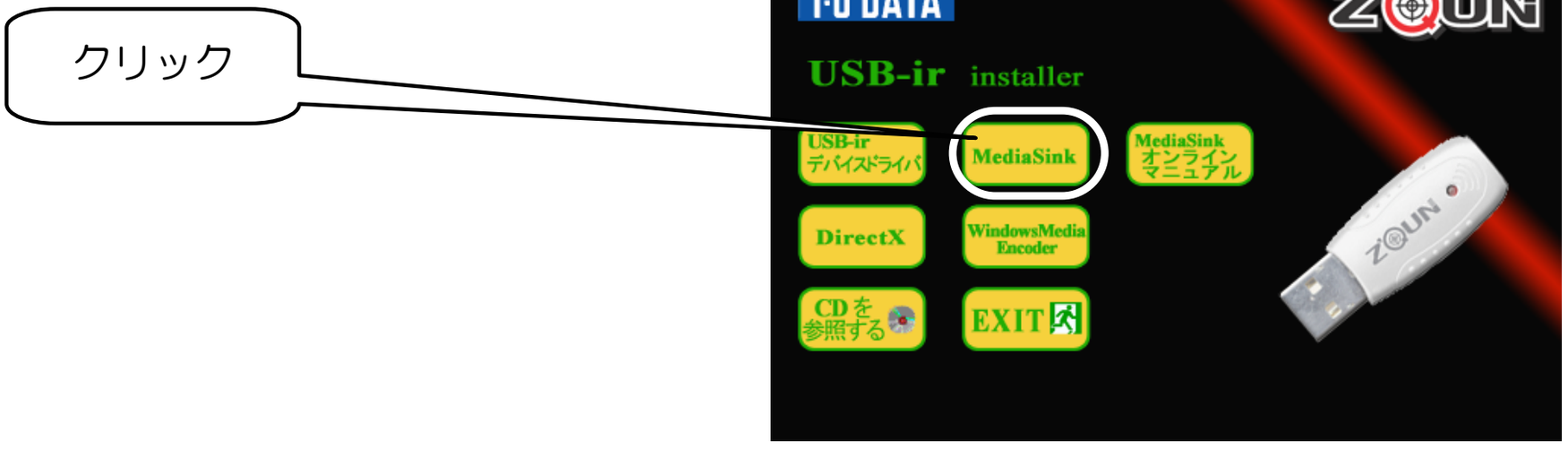
Windows XP/2000 の場合は、管理者権限のあるユーザでログインします。

2 サポートソフト CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。



3 **メニュー画面が表示されますので、[MediaSink]をクリックし、画面に指示にしたがってください。**

自動でメニュー画面が表示されない場合は、CD-ROM の[Autorun.exe]を起動してください。



4 **同様の手順で、[DirectX]、[Windows Media Encoder]をインストールしてください。**



以上でインストールは終了です。

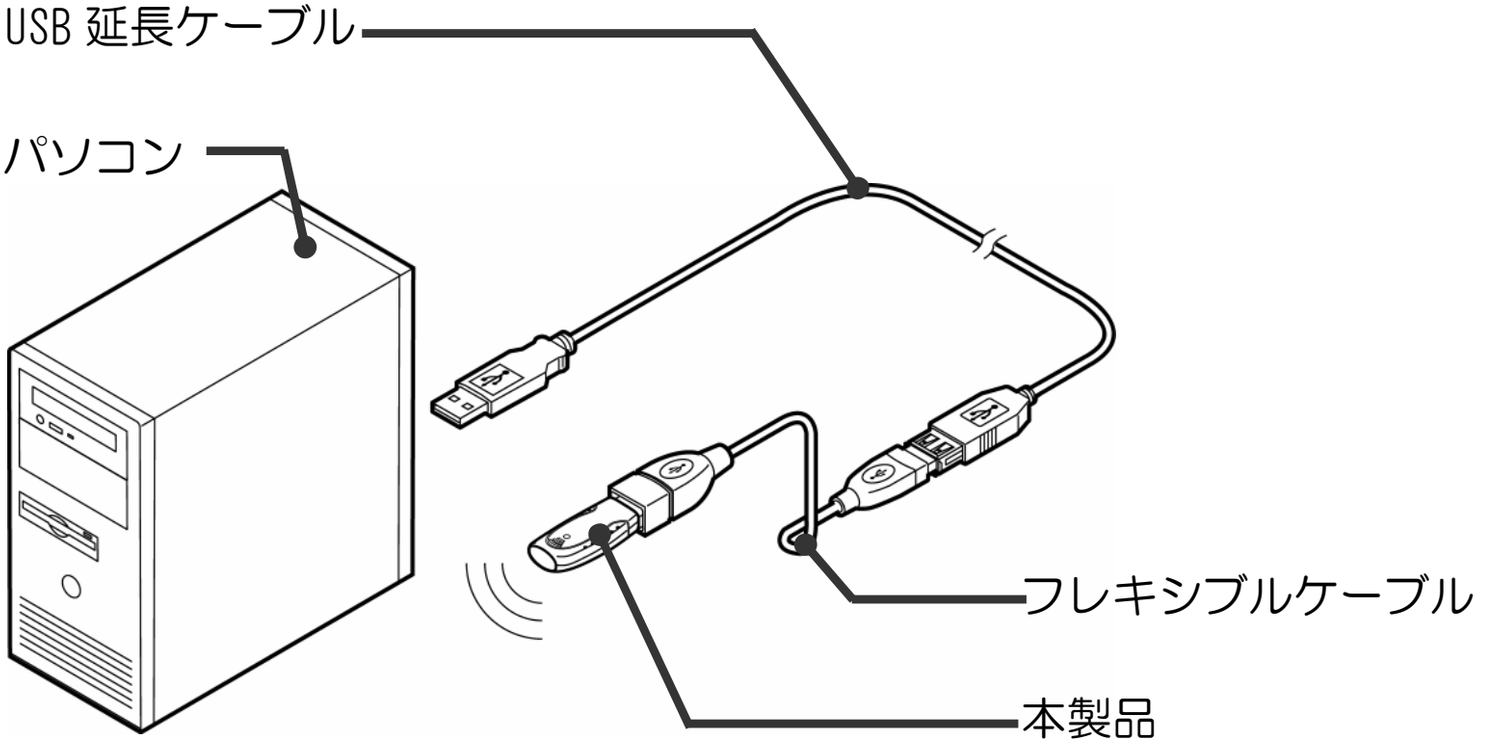
設置する

赤外線を使用して、データを送受信する場合は、本製品の受光部と相手側機器の受光部が平行に向き合うように固定してください。

本製品を送受信しやすい位置に固定します。

例）背面に USB ポートのあるパソコンの場合

添付の USB 延長ケーブルで前面に USB ポートをだして、添付のフレキシブルケーブルを使用して本製品の向きを固定できます。



注意！

添付のフレキシブルケーブルを必要以上にねじったり、折り曲げたりしないでください。断線の危険があります。

本製品でファイルを受信する

カメラ付き携帯電話の写真データや他のパソコンから送信されたデータを、本製品で受信する方法を説明します。



参考

《携帯電話での赤外線送信例 ＝ SH505i の場合 ＝》

①携帯電話にて、[メニュー]→[マイピクチャ]→[カメラ画像]より転送したい写真を選びます。

②携帯電話の赤外線ポートを本製品に対向させた状態で、サブメニューより[赤外線送信]を選びます。

⇒写真の転送を開始します。

③パソコンで受信し、保存できたことを確認します。（次ページ参照）

※パソコンと携帯電話の両方で転送が完了している事が確認できたら、本製品から携帯電話を離すことができます。

1 携帯電話など送信する機器から ファイルを送信します。

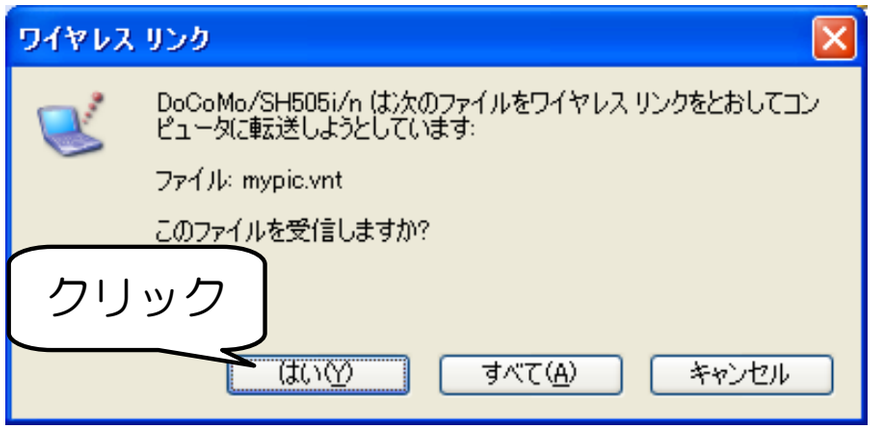
携帯電話を本製品の受光部に向けて、
赤外線送信してください。
赤外線送信の方法については、
携帯電話の取扱説明書をご覧ください。



2 本製品への受信を開始します。

Windows XP/2000/Me の場合、以下の画面が表示されたら、画面の[はい]ボタンをクリックします。（環境により表示されない場合があります。）
Windows 98 SE の場合は、自動で受信します。

▼Windows XP での画面例



▼Windows 98 SE での画面例



パソコンへ受信後のファイル名は、下記のように機種により異なります。

機種名	受信後のファイル名
N2051、N2701	nec_pic.vnt
P2102V	pic.vnt
N2102V、F2102V、F505i、D505i、N505i、P505i、SH505i、F504iS、N504iS、P504iS	mypic.vnt
J-N51	nec.vnt
J-SH53	xxx.jpg

ファイルの受信に失敗する場合は…
【困った時には】（39 ページ）をご覧ください。

Windows XP/2000/Me にて、ファイルの保存先を変える場合は…
【赤外線設定を確認する】（41 ページ）をご覧ください。



注意！

- **携帯電話の写真データは、毎回前ページのファイル名で送信されます。**
  上書きなどを防ぐために、受信後にファイル名を変更することをおすすめします。
- **本製品を装着したパソコンから携帯電話へ写真データを送信する場合も、前ページのファイル名で送信する必要があります。**
- **Windows 98 SE の場合は、起動ドライブの[My Received File]フォルダに保存されます。**

以上で、ファイルを受信できました。
受信した携帯電話の写真を見る場合は、本製品添付の MediaSink をご利用ください。次ページをご覧ください。

本製品で受信した写真を見る

パソコンに受信した携帯電話の写真を見るには、本製品添付の MediaSink を使用します。

注意！

●以下の使い方は一例です。MediaSink は他にも様々な使い方ができます。詳しくは、ヘルプや MediaSink オンラインマニュアルをご覧ください。(オンラインマニュアルはサポートソフト CD-ROM に収録されています。)

●J-SH53 で受信したデータは jpg 形式であるため、ファイルを開くだけで写真を見ることができます。J-SH53 では下記の方法で写真を見ることはできませんのでご注意ください。

1 携帯電話から受信した写真データを、デスクトップに置きます。

・Windows XP/2000/Me の場合、あらかじめ赤外線で受信したファイルの保存先をデスクトップにしておくと便利です。(41 ページ参照)

・Windows 98 SE の場合、ファイルは[My Received File]フォルダに保存されますので、デスクトップにコピーしてください。

2 MediaSink を起動します。

デスクトップ上にあるアイコンを起動します。



MediaSink

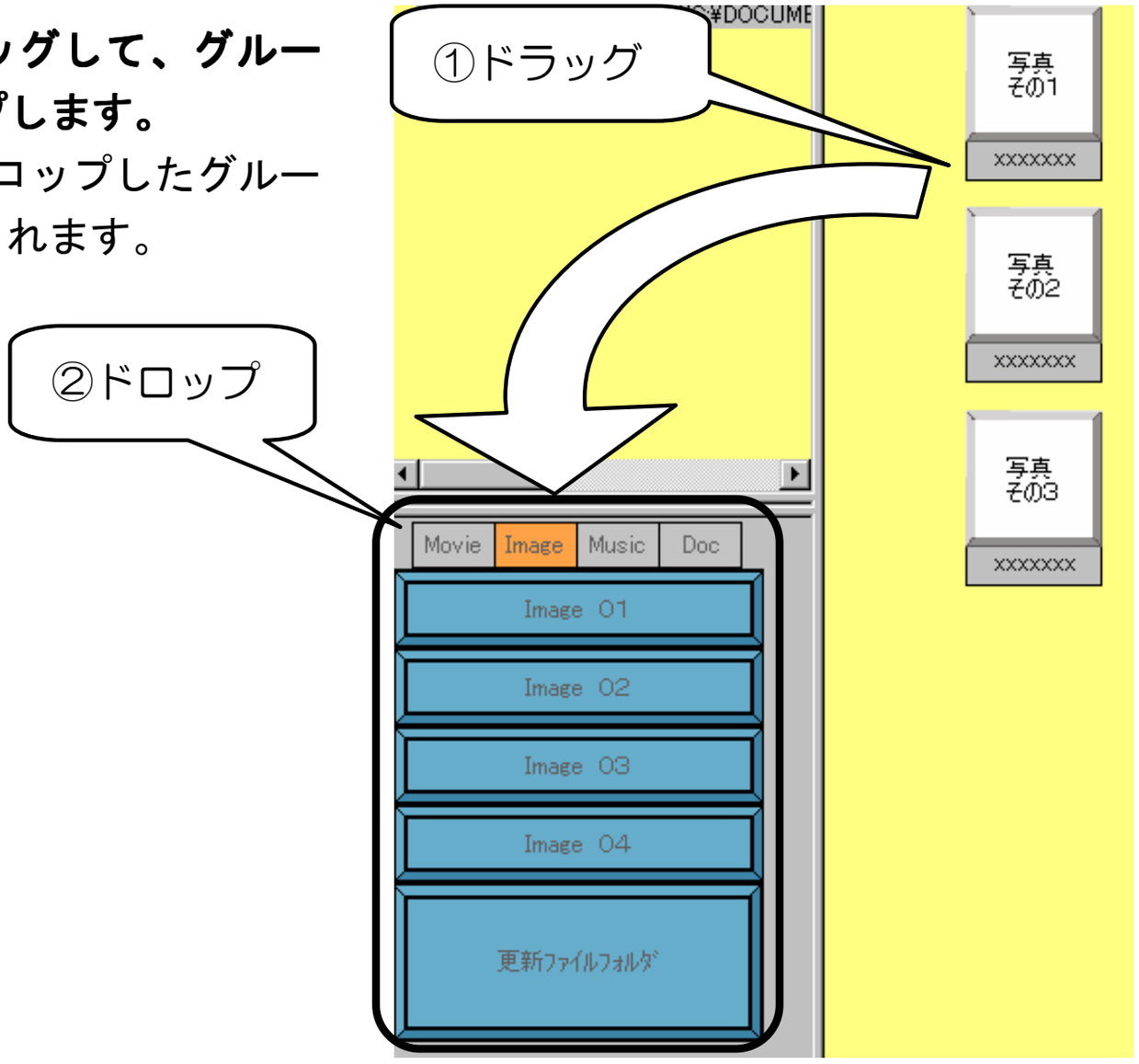
3 [PDC OUT]アイコンをクリックします。

⇒画面の右側に手順 *1* でコピーした写真が表示されます。



4 **写真をドラッグして、グループにドロップします。**

⇒写真は、ドロップしたグループに保存されます。



5 **画面右側の見たい写真をダブルクリックします。**

⇒写真が表示されます。

以上で、写真が表示されました。

本製品からファイルを送信する

本製品を接続したパソコンから、携帯電話や他のパソコンへファイルを送信する方法を説明します。

OS により手順が異なります。下記の該当ページへお進みください。

●Windows XP/2000/Me の場合

【Windows XP/2000/Me でファイルを送信する】（次ページ）へお進みください。

●Windows 98 SE の場合

【Windows 98 SE でファイルを送信する】（32 ページ）へお進みください。



参考

《携帯電話での赤外線受信例 ＝ SH505i の場合 ＝》

①携帯電話にて、[メニュー]→[赤外線受信]→[受信]を選びます。

②本製品を取り付けたパソコンから「mypic.vnt」を送信します。（次ページ以降を参照）

⇒写真の転送を開始します。

③携帯電話にて[画像を保存しますか？]と表示されたら、[はい]を選び、受信した写真を保存します。

※パソコンと携帯電話の両方で転送が完了している事が確認できたら、本製品から携帯電話を離すことができます。

Windows XP/2000/Me でファイルを送信する

1 **相手側機器（携帯電話）を通信ができる状態にします。**

携帯電話を赤外線受信可能な状態にして、本製品の受光部に向けてください。赤外線受信の方法については、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

2 **デスクトップ上に表示される次のアイコンをダブルクリックします。**

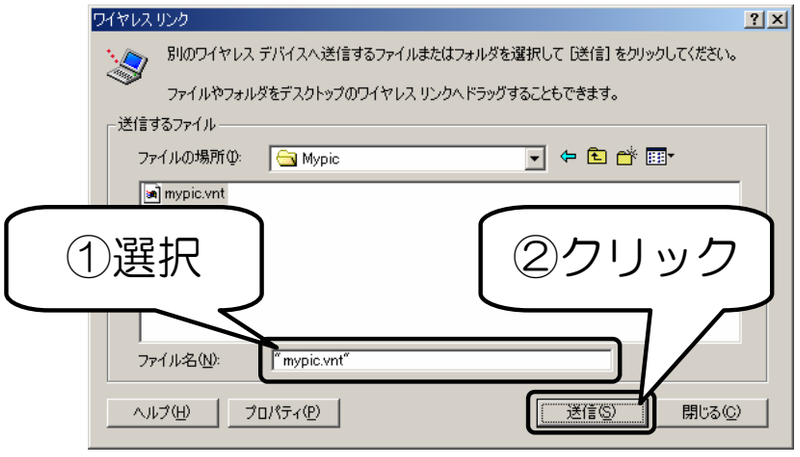
Windows XP の場合 …［ファイルを別のコンピュータに送信］
Windows 2000/Me の場合 …［ワイヤレスリンク］
アイコンが表示されない場合は、再度 *1* をご確認ください。



3 **表示された画面で送信したいファイルを選択し、［送信］ボタンをクリックします。**

⇒相手側機器にファイルが送信されます。

▼Windows 2000での画面例



▼Windows XP での画面例



Windows XP/2000/Me でファイルを送信する（つづき）

4 **相手側機器(携帯電話)にて受信します。**

例）相手側機器が Windows XP/2000/Me の場合は、[はい]ボタンを
クリックする必要があります。

以上で、データを送信できました。



参考

下記の方法で送信することもできます。

①[マイコンピュータ]や[エクスプローラ]を起動します。

②送信したいファイルを右クリックし、[送る]をクリックします。

③Windows XP の場合は、[近くのコンピュータ]、
Windows 2000/Me の場合は、[赤外線受信者]をクリックします。

⇒選択したファイルが送信されます。

Windows 98 SE でファイルを送信する

1 **相手側機器（携帯電話）を通信ができる状態にします。**

携帯電話を赤外線受信可能な状態にして、本製品の受光部に向けてください。赤外線受信の方法については、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

2 **[マイコンピュータ]を開きます。**

3 **[赤外線の受信側]アイコンをダブルクリックします。**

xxxxxxx は受信側の名前になります。



4 **①[利用可能なデバイス]が複数ある場合は、送信したい機器を選択します。**

②[ファイルの送信]ボタンをクリックし、送信したいファイルを選択します。

⇒ファイルを送信します。



クリック

Windows 98 SE でファイルを送信する（つづき）

5 **相手側機器にて受信します。**

例）相手側機器が Windows XP/2000/Me の場合は、[はい]ボタンを
クリックする必要があります。

以上で、データを送信できました。



参考

●手順 *4* にて、[受信したファイル]ボタンをクリックすると、赤外線で受信したファイルの保存フォルダである[My Received File]フォルダが開きます。

●下記の方法で送信することもできます。

①[マイコンピュータ]や[エクスプローラ]を起動します。

②送信したいファイルを右クリックし、[送る]をクリックします。

③[赤外線の受信側]をクリックします。

⇒選択したファイルが送信されます。

困った時には

弊社ホームページをご覧ください

本書【困った時には】で解決できない場合は、サポート Web ページ内の「製品 Q&A、News など」もご覧ください。過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。

http://www.iodata.jp/support/

製品Ｑ＆Ａ
News など

添付のサポートソフトをバージョンアップすることで解決できる場合があります。下記の弊社サポート・ライブラリから最新のサポートソフトをダウンロードしてお試しください。

http://www.iodata.jp/lib/

最新
サポートソフト

状態	ページ
インストールする前に本製品を接続してしまった	35
CD-ROM ドライブがない、または、USB 接続の CD-ROM ドライブを使っているので、インストールできない	35
［デバイスマネージャ］の確認で［USB-IrDA Adapter］が表示されない	38
［デバイスマネージャ］の確認で［USB-IrDA Adapter］の頭に、！マークがついている	38
データの受信に失敗する	39

インストールする前に本製品を接続してしまった

対処	表示された画面を[キャンセル]ボタンをクリックして閉じてから、本製品を取り外し、【インストールする】(10 ページ以降)ご覧になり、インストールしてください。

CD-ROM ドライブがない、または、USB 接続の CD-ROM ドライブを使っているので、インストールできない

対処	次の手順にしたがってください。

CD-ROMドライブが無い場合

パソコンに CD-ROM ドライブが無い場合は、以下を行ってください。

1. **インターネット上の弊社ホームページ（http://www.iodata.jp/lib/）より、本製品添付のサポートソフトのファイルを入手します。**
2. **ハードディスクドライブ(Windows がインストールされているドライブ)に、任意のフォルダを作成し、入手したファイルをそのフォルダで展開してください。**

インストールの手順内では、ここで作成したフォルダを指定してください。

USB接続でCD-ROMドライブをお使いの場合

パソコンにUSBポートが１つのみで、かつUSB接続のCD-ROMドライブをお使いの場合、インストール時にCD-ROMドライブが使えません。以下の方法で「サポートソフト」の内容をハードディスクにコピーしておいてください。

1 **パソコンにCD-ROMドライブを接続し、パソコンの電源を入れます。**

2 **①エクスプローラを起動します。**

・Windows XPの場合

[スタート]→[すべてのプログラム]→［アクセサリ］→[エクスプローラ]を順にクリックします。

・Windows 2000の場合

[スタート]→[プログラム]→[アクセサリ]→[エクスプローラ]を順にクリックします。

・Windows Me/98 SEの場合

[スタート]→[プログラム]→[エクスプローラ]を順にクリックします。

②[すべてのファイルを表示する]に設定します。

1. ［ツール］メニューの［フォルダ オプション］を選びます。
2. ［表示］タブに移動し、[すべてのファイルとフォルダを表示する］をチェックします。（[表示］タブの［詳細設定］欄にあります。）
3. [OK］ボタンをクリックします。

USB接続でCD-ROMドライブをお使いの場合（つづき）



参考

[ツール]メニューの[フォルダ オプション]が無い場合、以下の手順で設定します。

→①[表示]メニューの[フォルダ オプション]を選びます。
②[表示]タブの[すべてのファイルを表示する]をチェックします。
③[OK]ボタンをクリックします。

3 **CD-ROM ドライブにサポートソフトディスクをセットします。**

4 **ハードディスクドライブ（Windows などがインストールされているドライブ）に、任意のフォルダ（ディレクトリ）を作成します。**

5 **「サポートソフト」ディスクの内容をすべて手順4 で作成したフォルダ（ディレクトリ）にコピーします。**

インストールの手順内では、ここで作成したフォルダを指定してください。

［デバイスマネージャ］の確認で［USB-IrDA Adapter］が表示されない

原因１	本製品を取り付けていない、または、正しく取り付けていない。
対処	本製品を差し込んでいない状態では表示されません。本製品が USB ポートに差し込まれていることを確認してください。

原因２	[その他のデバイス]として認識している。
対処	[その他のデバイス]内を削除し、パソコンを再起動してください。

原因３	USB ポートが正常に動作していない。
対処	複数の USB ポートがある場合は、本製品を別の USB ポートに接続してみてください。

［デバイスマネージャ］の確認で［USB-IrDA Adapter］の頭に、！マークがついている

原因１	パソコンを再起動していない。
対処	本製品を挿入したまま、パソコンを再起動します。再起動後、再度確認してみてください。

原因２	ドライバのインストールが正しくない。
対処	下記の手順にしたがってください。 ①本製品を削除します。（【本製品を削除する】(47 ページ)参照） ②再度インストールをします。（【インストールする】(10 ページ)参照）

データの受信に失敗する

原因１	本製品を取り付けていない、または、正しく取り付けていない。
対処	本製品が USB ポートに差し込まれていることを確認してください。

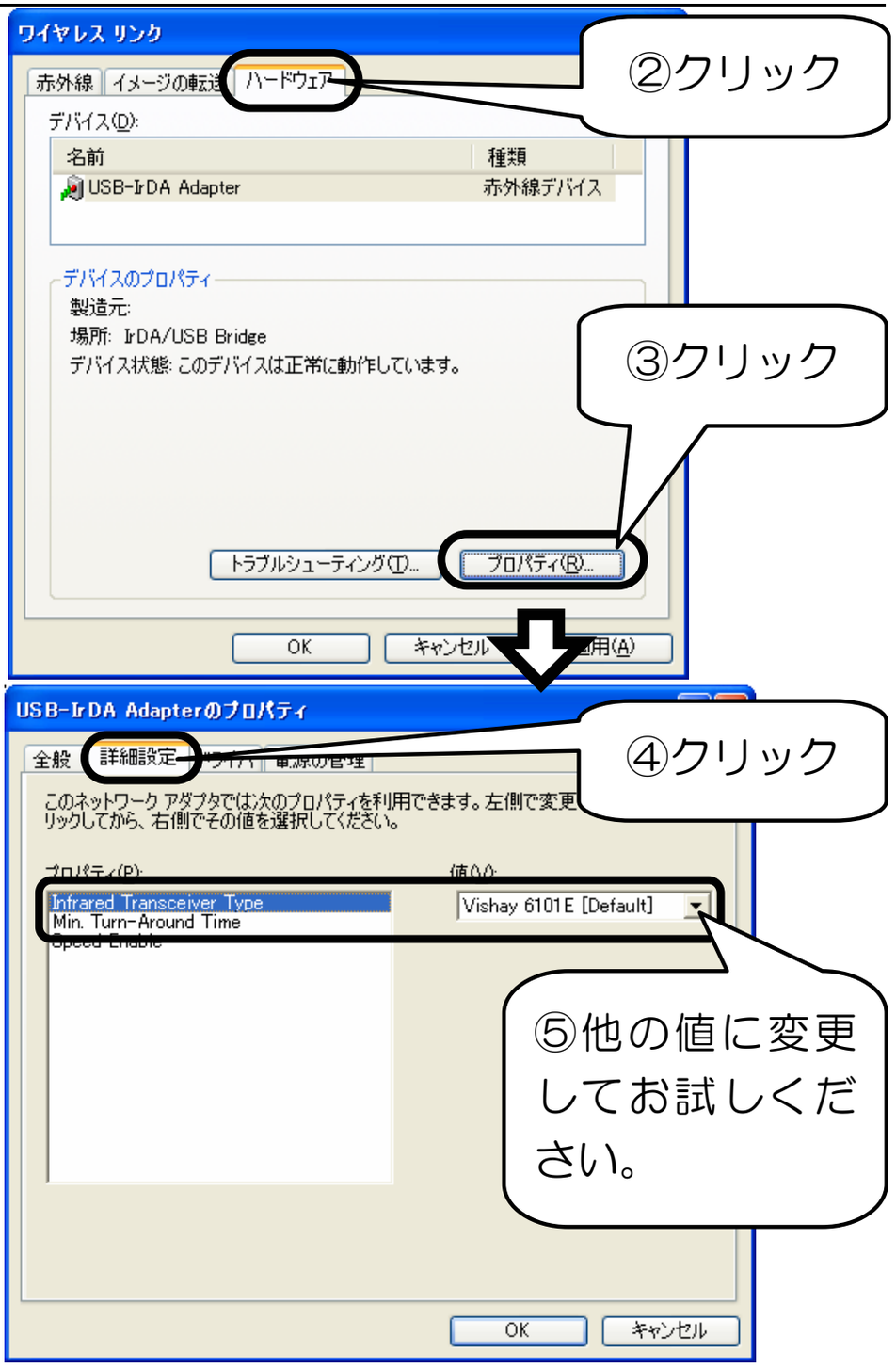
原因２	本製品と相手側機器の間に距離がある。または、障害物がある。
対処	本製品と相手側機器の間に障害物が無いことを確認し、できるだけ近づけてください。

原因３	本製品と相手側機器の受光部が平行に向き合っていない。
対処	本製品と相手側機器の受光部が平行に向き合うようにしてください。

原因４	携帯電話の送信と本製品の受信のタイミングが合わない。
対処	何度か携帯電話の送信をやり直してください。

原因５	赤外線受信の設定が OFF になっている。
対処	赤外線の設定にて、[赤外線受信を可能にする]という旨の項目にチェックがついていることをご確認ください。詳しくは、【赤外線の設定を確認する】(41 ページ)をご覧ください。

原因６	《Windows XP/2000 のみ》通信相手機器との相性が悪い。
対処	次の手順で、赤外線の設定を変更してお試しください。 ①コントロールパネルの[ワイヤレスリンク]アイコンをダブルクリックします。 ②表示された画面の[ハードウェア]タブをクリックします。 ③[プロパティ]ボタンをクリックします。 ④[詳細設定]タブをクリックします。 ⑤各プロパティの値を、他の値に変更して、お試しください。 ※[Speed Enable]は変更する必要はありません。



赤外線の設定を確認する

赤外線の受信をする際の設定ができます。

OS により方法が異なります。下記の該当ページへお進みください。

●Windows XP/2000 の場合

【Windows XP/2000 で設定する】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 次ページ

●Windows Me の場合

【Windows Me で設定する】 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・44 ページ

●Windows 98 SE の場合

【Windows 98 SE で設定する】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・46 ページ

Windows XP/2000 で設定する

1 **[コントロールパネル]から、**
[ワイヤレスリンク]アイコンを開きます。

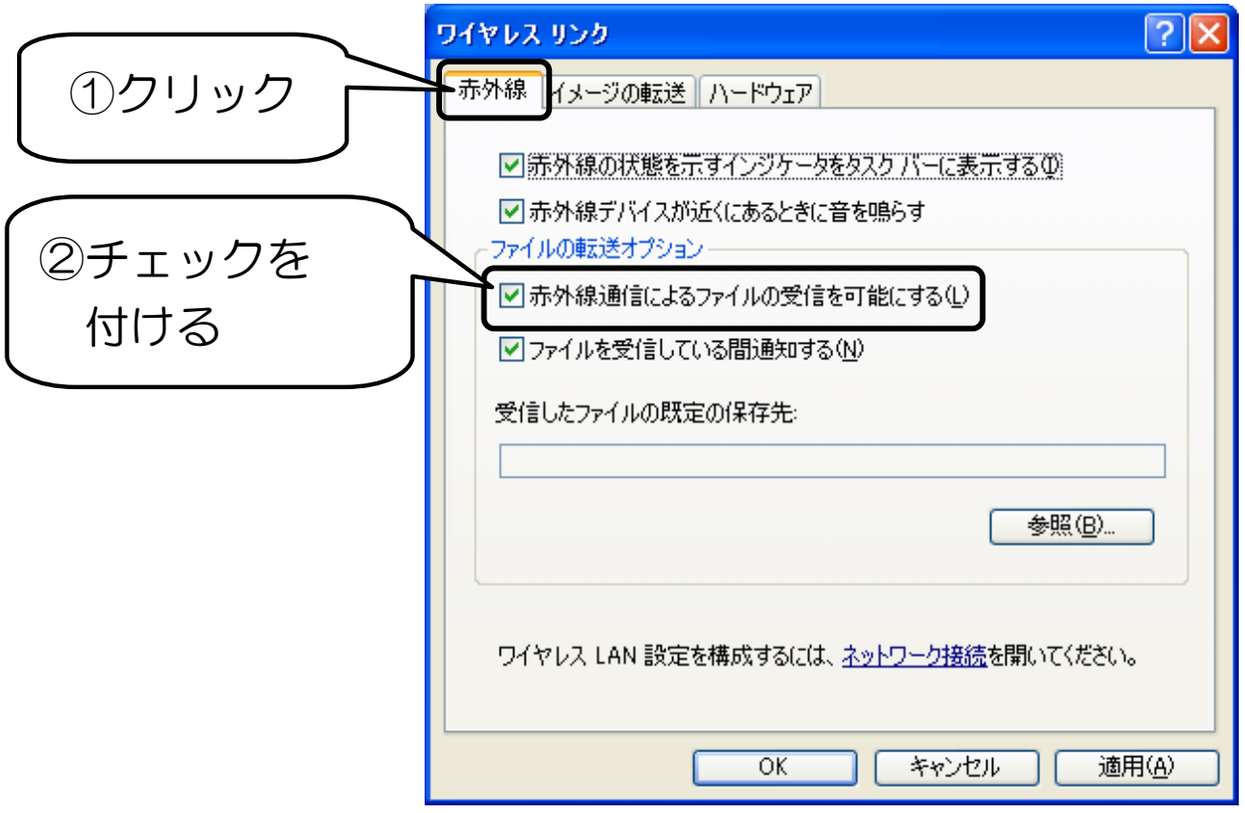


2 **赤外線の設定をします。**

●赤外線受信を有効にする

①[赤外線]タブをクリックします。

②[赤外線通信によるファイルの受信を可能にする]にチェックを付けます。

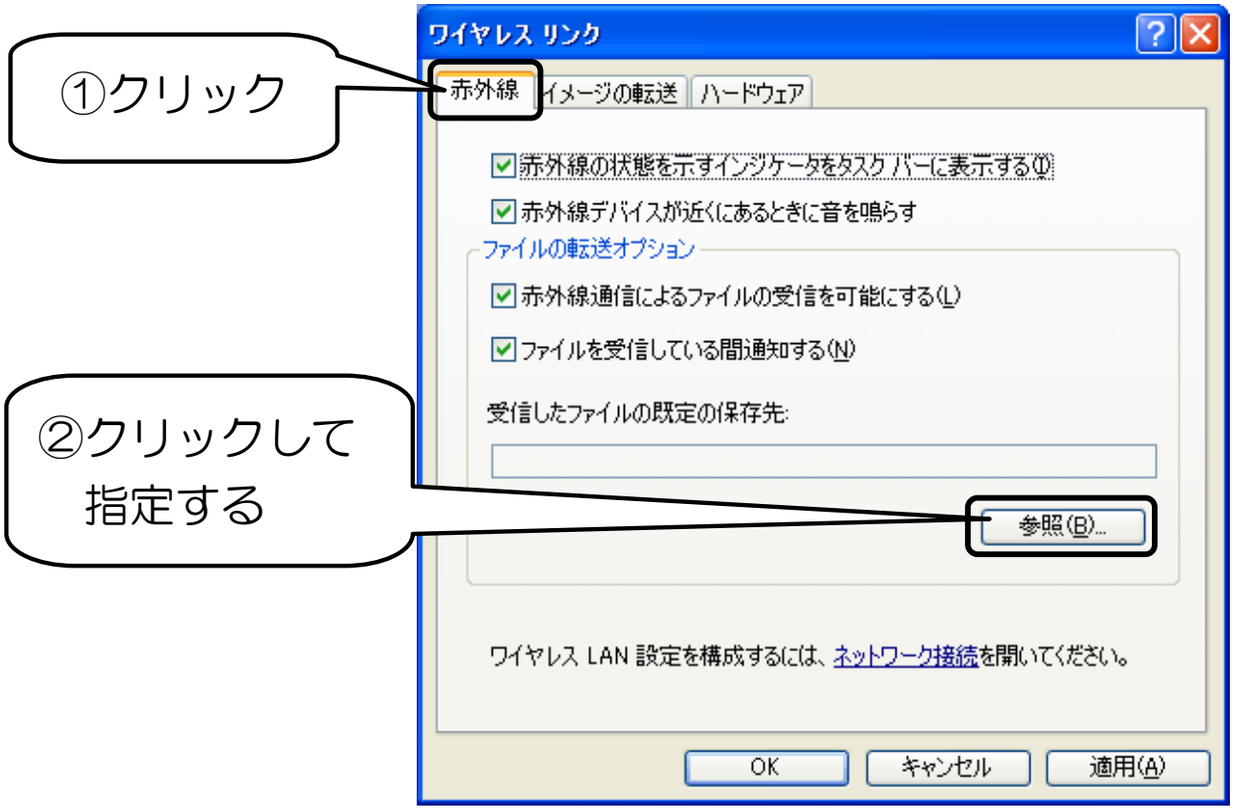


Windows XP/2000 で設定する（つづき）

●受信したファイルの保存場所を指定する

①[赤外線]タブをクリックします。

②[参照]ボタンをクリックし、[受信したファイルの規定の保存先]を指定します。



3 **[OK]ボタンをクリックすると設定完了です。**

Windows Me で設定する

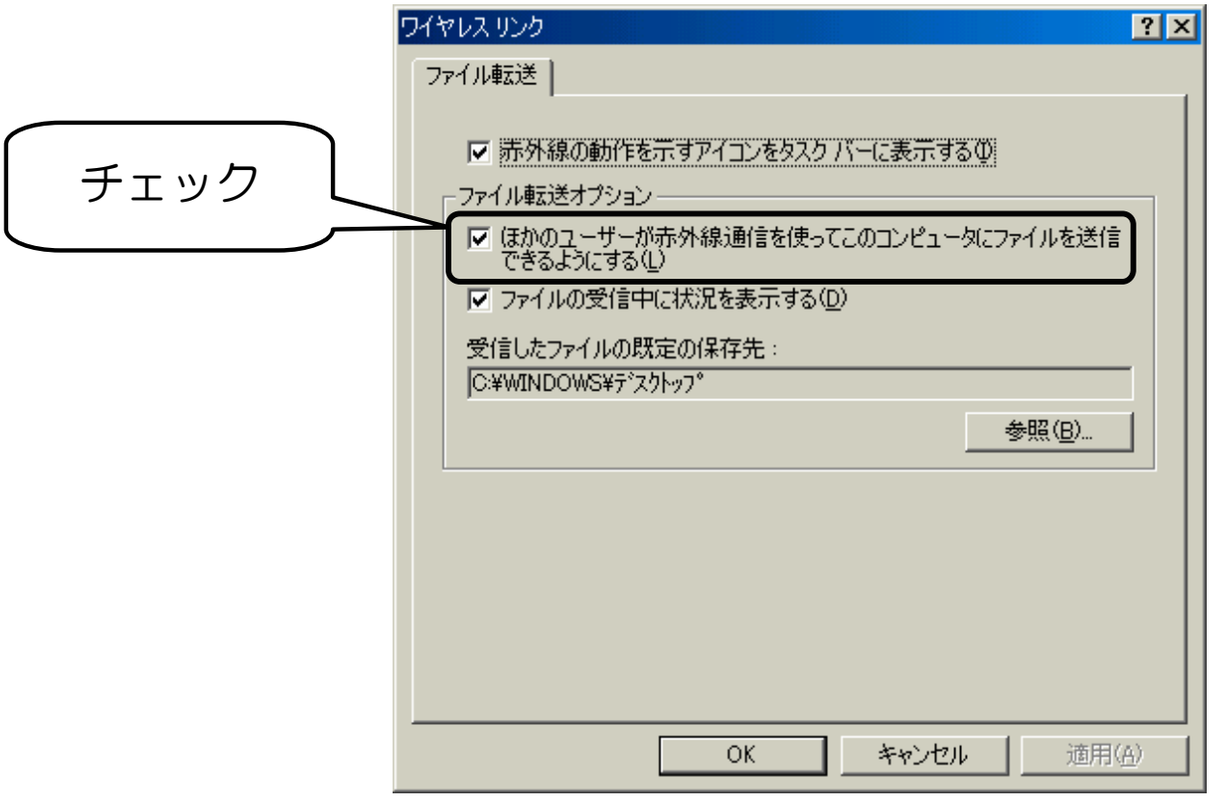
1 **[コントロールパネル]から、**
[ワイヤレスリンク]アイコンを開きます。



2 **赤外線の設定をします。**

●赤外線受信を有効にする

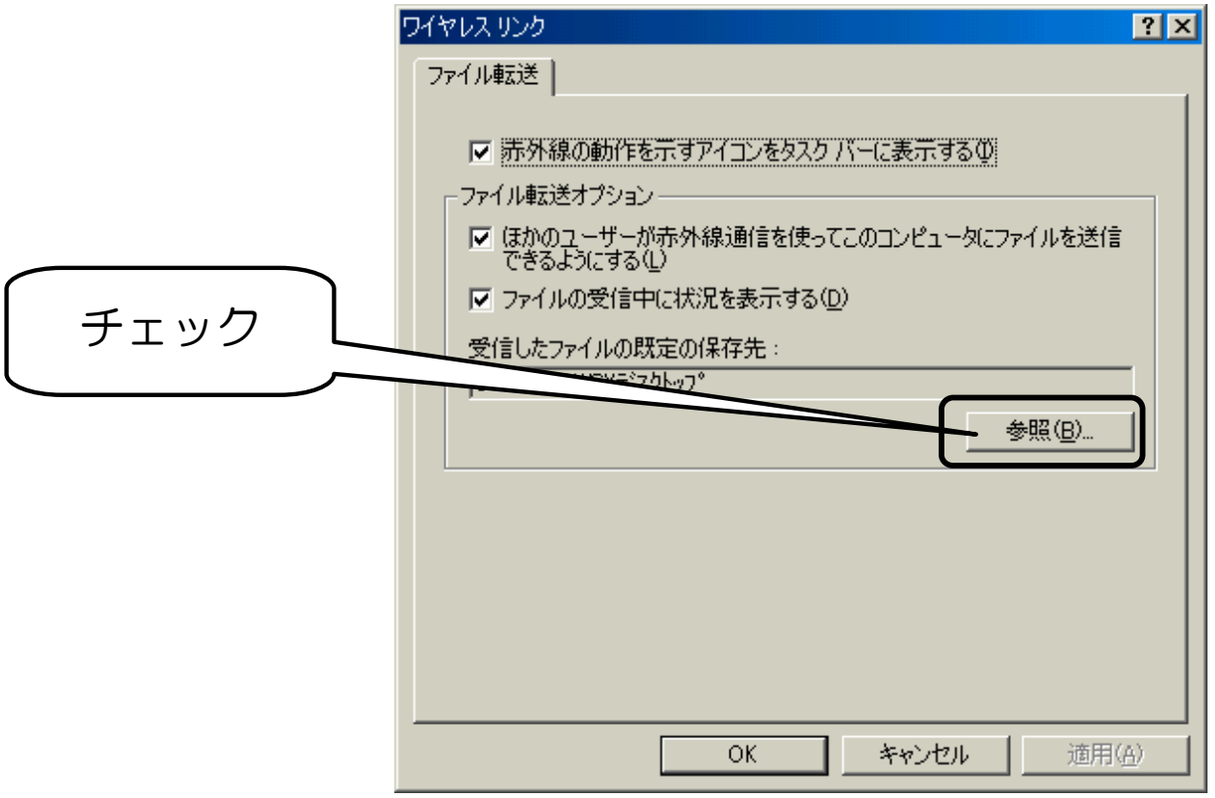
[ほかのユーザーが赤外線通信を使って…]にチェックを付けます。



Windows Me で設定する（つづき）

●受信したファイルの保存場所を指定する

[参照]ボタンをクリックし、[受信したファイルの規定の保存先]を指定します。



3 **[OK]ボタンをクリックすると設定完了です。**

Windows 98 SE で設定する

1 **[コントロールパネル]から、**
[赤外線モニタ]アイコンを開きます。

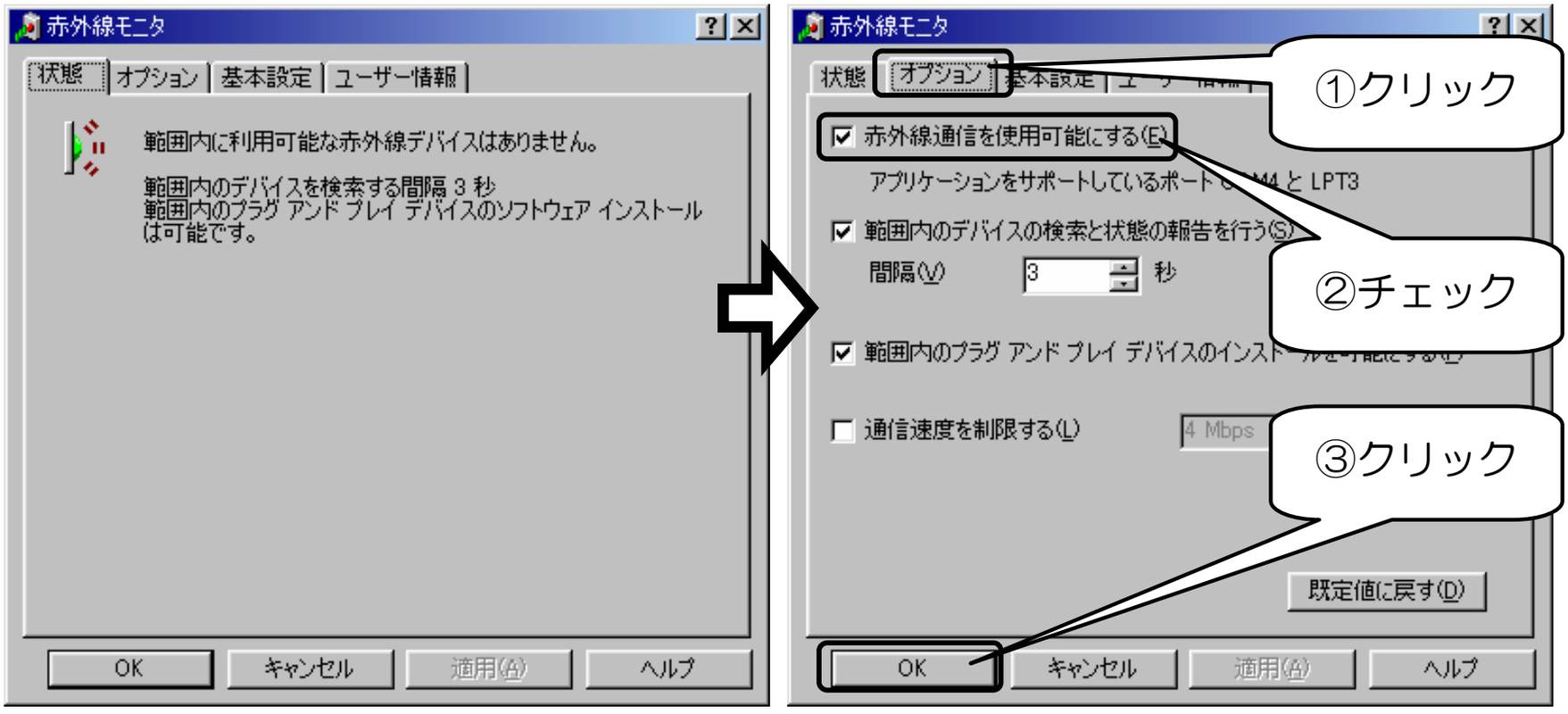


2 **赤外線モニタの設定をします。**

●赤外線受信を有効にする

①[オプション]タブをクリックします。
②[赤外線通信を可能にする]にチェックを付けてください。
③[OK]ボタンをクリックすると設定完了です。

●Windows 98 SE で受信したファイルは、起動ドライブの[My Received File]フォルダに保存されます。保存フォルダの変更はできません。



本製品を削除する

MediaSink と本製品は、別に削除します。

MediaSink を削除する

1 **[スタート]→（[設定]→）[コントロールパネル]の[アプリケーションの追加と削除]（[プログラムの追加と削除]）を開きます。**

2 **[MediaSink]を削除します。**

①[MediaSink]を選択します。

②[変更と削除]（[変更/削除]や[追加と削除]）ボタンをクリックし画面の指示にしたがいます。

本製品の削除は OS により方法が異なります。下記の該当するページへお進みください。

●Windows XP/2000 の場合

【Windows XP/2000 で削除する】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 次ページ

●Windows Me/98 SE の場合

【Windows Me/98 SE で削除する】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・49 ページ

Windows XP/2000 で削除する

1 **[スタート]→（[設定]→）[コントロールパネル]の[アプリケーションの追加と削除]（[プログラムの追加と削除]）を開きます。**

2 **[USB-IrDA Adapter]を削除します。**

①[USB-IrDA Adapter]を選択します。

②[変更と削除]ボタンをクリックし、画面の指示にしたがいます。

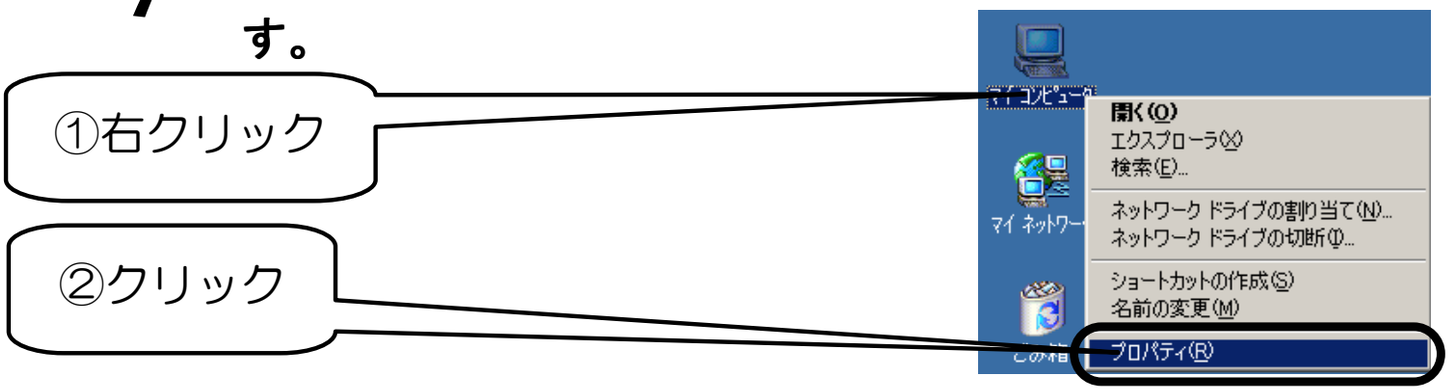
▼Windows XP の画面例



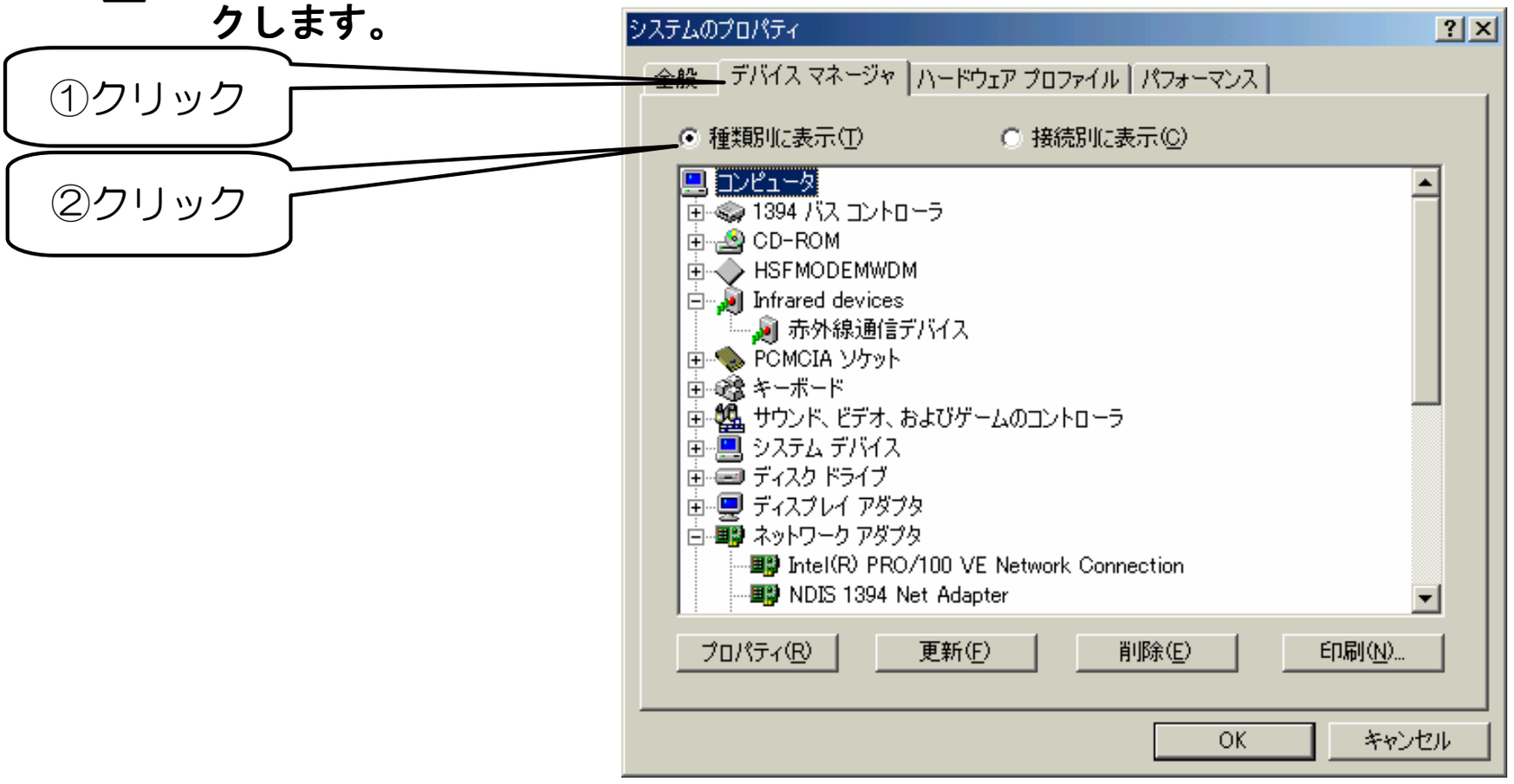
これで本製品は削除されました。本製品を取り外してください。

Windows Me/98 SE で削除する

1 [マイコンピュータ]を右クリックして、[プロパティ]をクリックします。



2 [デバイスマネージャ] タブをクリックし、[種類別に表示] をクリックします。



Windows Me/98 SE で削除する(つづき)

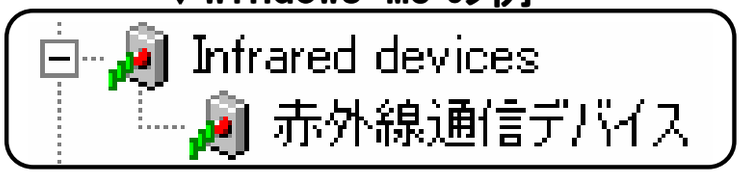
3 **以下の手順で削除します。**

このとき再起動を促す画面が表示されたら、[いいえ]をクリックしてください。（**再起動しないでください。**）

①Windows Me の場合、[Infrared devices]をダブルクリックします。
　Windows 98 SE の場合、[赤外線デバイス]をダブルクリックします。

②表示された[赤外線通信デバイス]を選択し、[削除]ボタンをクリックして画面の指示にしたがいます。

▼Windows Me の例



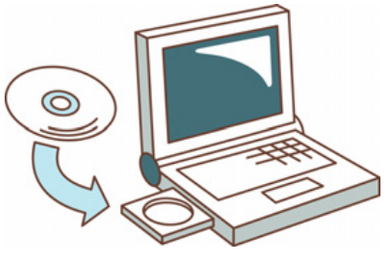
③[ネットワークアダプタ]をダブルクリックします。

④表示された[USB-IrDA Adapter]を選択し、[削除]ボタンをクリックして画面の指示にしたがいます。



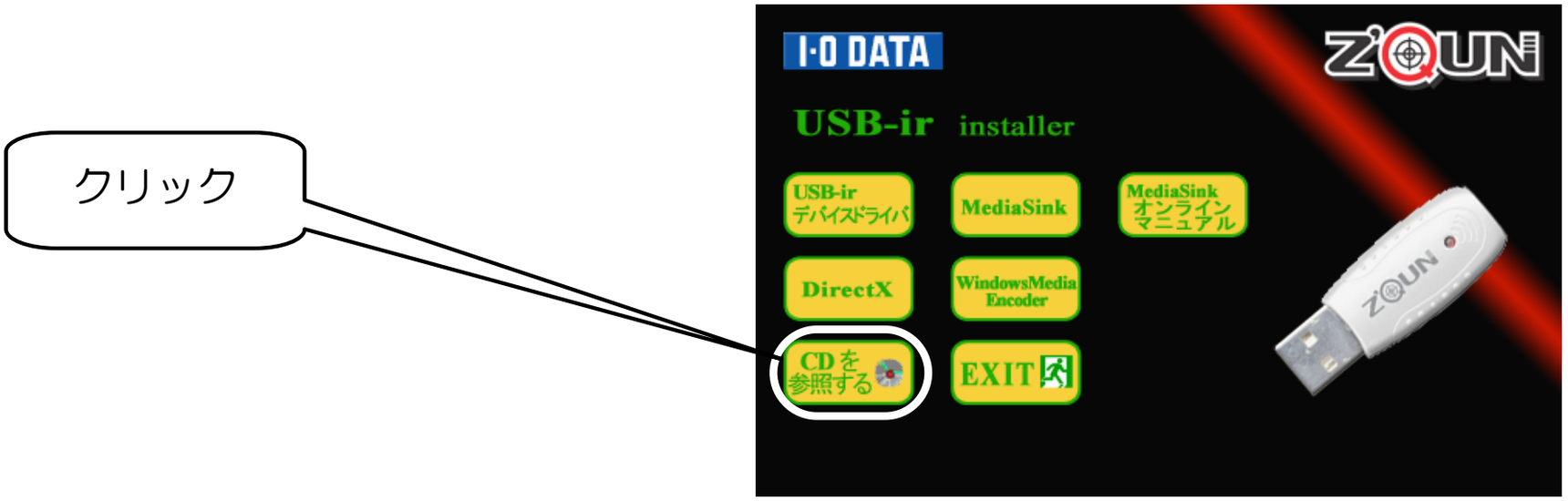
⑤[OK]ボタンをクリックし、画面を閉じます。

4 **サポートソフト CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。**



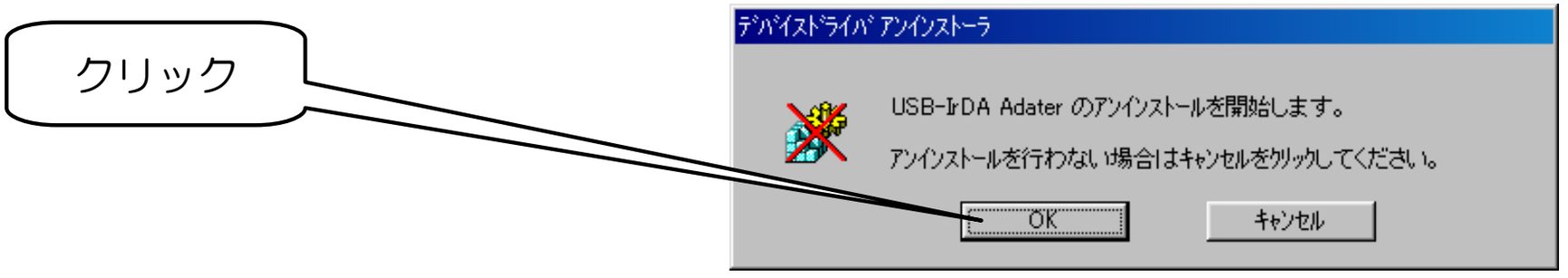
Windows Me/98 SE で削除する(つづき)

5 メニュー画面が表示されますので、[CD を参照する]をクリックします。



6 [UNINST]フォルダ→[WIN9X]フォルダの[DDSETUP.EXE]を起動します。

7 以下の画面で、[OK]ボタンをクリックします。



Windows Me/98 SE で削除する(つづき)

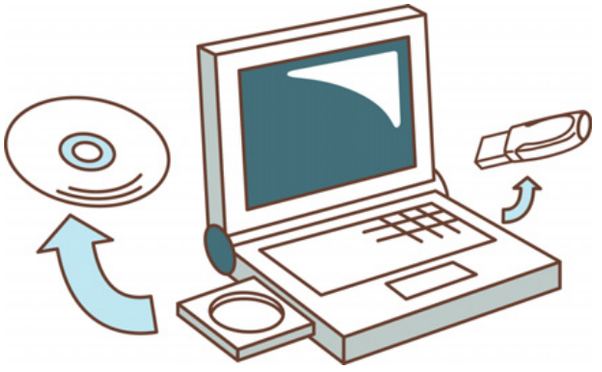
8 以下の画面で、[OK]ボタンをクリックします。

クリック



9 本製品を取り外し、CD-ROM を取り出した後、[はい]ボタンをクリックしてパソコンを再起動します。

①取り出す



②クリック



これで本製品は削除されました。

仕様

製品型番	USB-ir
対応規格	USB Specification Ver1.1 IrDA Specification Ver1.1
転送速度	12Mbit/s（理論値）
通信速度	9.6/19.2/38.4/57.6/115.2Kbps/4Mbps（理論値）※
通信距離	3cm～1m（理論値）※
対応安全規格	VCCI
電源電圧	DC 5V（USB バスパワー供給）
消費電流	250mA（Max）
質量	約 6.0g（ケーブル除く）
外形寸法	18(D)×47(W)×9.5(H)mm
ケーブル長	フレキシブルケーブル：約 30cm USB 延長ケーブル：約 1.0m
動作温度	0～40℃
動作湿度	20～80%（結露無きこと）

※通信速度や距離は、相手側機器により異なります。

アフターサービス

①弊社ホームページをご確認ください。

本書【困った時には】で解決できない場合は、サポート Web ページ内の「製品 Q&A、News など」もご覧ください。過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。

http://www.iodata.jp/support/

製品Ｑ＆Ａ
News など

添付のサポートソフトをバージョンアップすることで解決できる場合があります。下記の弊社サポート・ライブラリから最新のサポートソフトをダウンロードしてお試しください。

http://www.iodata.jp/lib/

最新
サポートソフト

② それでも解決できない場合は、下記にお問い合わせください。

住所：　〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地
　　アイ・オー・データ第２ビル
　　株式会社アイ・オー・データ機器　サポートセンター
電話：　本社…**076-260-3644**　東京…**03-3254-1144**
　　※受付時間　9:30～19:00　月～金曜日（祝祭日を除く）
FAX：　本社…**076-260-3360**　東京…**03-3254-9055**
インターネット：　http://www.iodata.jp/support/

修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

●お客様が貼られたシールなどについて

修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。
その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

●修理金額について

・保証期間中は、無料にて修理いたします。
ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有料となります。
※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。

・保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。
※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。

・お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。（ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにて連絡させていただきます。）

修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

●メモに控え、お手元に置いてください

お送りいただく製品の製品名、シリアル番号、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

●これらを用意してください
・必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）
※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。
・下の内容を書いたもの
返送先［住所/氏名/(あれば)FAX 番号］,日中にご連絡できるお電話番号,
ご使用環境（機器構成、OS など）,故障状況（どうなったか）
●修理品を梱包してください
・上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。
・輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。
※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。
●修理をご依頼ください
・修理は下の送付先までお送りくださいますようお願いいたします。
※原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
・送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

送付先　〒920-8513 石川県金沢市桜田町 2 丁目 84 番地
アイ・オー・データ第 2 ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　修理センター　宛

修理品の返送

●修理品到着後、通常約 1 週間ほどで弊社より返送できます。
※ただし、有料の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
3) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
4) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
5) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各1部だけ複写できるものとします。
6) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
7) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
8) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
9) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継機、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
10) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
11) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
12) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
13) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。

- I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- Microsoft,Windowsは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
- その他、一般に会社名、サービス名、ソフト名、製品名は各社の商標または登録商標です。

Z'QUN(USB-ir) 取扱説明書　2003.Oct.17　143250-01
発行 株式会社アイ･オー･データ機器

© 2002-2003 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.